AX2400S ソフトウェアマニュアル

メッセージ・ログレファレンス

Ver. 11.5 対応

AX24S-S005-D0

AlaxalA

■対象製品

このマニュアルは AX2400S モデルを対象に記載しています。また，AX2400S のソフトウェア Ver. 11.5 の機能について記載しています。ソフトウェア機能は，ソフトウェア OS-L2 およびオプションライセンスによってサポートする機能について記載します。

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には，外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上，必要な手続きをお取りください。
なお，ご不明な場合は，弊社担当営業にお問い合わせください。

■商標一覧

Cisco は，米国 Cisco Systems, Inc. の米国および他の国々における登録商標です。
Ethernet は，富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
Internet Explorer は，米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
IPX は，Novell,Inc. の商標です。
Microsoft は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Octpower は，日本電気（株）の登録商標です。
RSA，RSA SecurID は，RSA Security Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
sFlow は，米国およびその他の国における米国 InMon Corp. の登録商標です。
UNIX は，The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。
VitalQIP，VitalQIP Registration Manager は，Lucent technologies の商標です。
VLANaccessClient は，NEC ソフトの商標です。
VLANaccessController，VLANaccessAgent は，NEC の商標です。
Windows は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
イーサネットは，富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
そのほかの記載の会社名，製品名は，それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■マニュアルはよく読み，保管してください。

製品を使用する前に，安全上の説明をよく読み，十分理解してください。
このマニュアルは，いつでも参照できるよう，手近な所に保管してください。

■ご注意

このマニュアルの内容については，改良のため，予告なく変更する場合があります。

■発行

２０１１年　 1月 （第１４版） ＡＸ２４Ｓ－Ｓ００５－Ｄ０

■著作権

変更履歴

【Ver. 11.5 対応版】

表　変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
2.4.1　イベント発生部位＝ SOFTWARE	• 装置の管理関連のログを追加しました。
2.6.2　イベント発生部位＝ EQUIPMENT	• 装置の管理関連のログを追加しました。

なお，単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

【Ver. 11.4 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位＝ VLAN（Ring Protocol）	• 多重障害監視機能に関するログを追加しました。
イベント発生部位＝ SOFTWARE	• 省電力に関するログを追加しました。 • DHCP snooping に関するログを追加しました。
イベント発生部位＝ ULR	• 自動切り戻しに関するログを追加しました。

【Ver. 11.2 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位＝ VLAN（Ring Protocol）	• 経路切り戻し抑止機能に関するログを追加しました。
イベント発生部位＝ ULR	• 本項を追加しました。

【Ver. 11.1 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位＝ VLAN（CFM）	• 本項を追加しました。

【Ver. 11.0 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位＝ VLAN	• 汎用 Flush Request フレーム受信による MAC アドレステーブルクリア時のログを追加しました。

【Ver. 10.8 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位＝ VLAN	• メッセージ識別子 25100031 のログを削除しました。
イベント発生部位＝ VLAN（GSRP）	• 自動マスタ遷移待ち時間が経過したときのログを追加しました。

項目	追加・変更内容
イベント発生部位＝ SOFTWARE	• IEEE802.1X に関するログの説明文を修正しました。 • Web 認証に関するログの説明文を修正しました。 • MAC 認証に関するログの説明文を修正しました。 • CPU 宛てのパケットキューイングに関するログを追加しました。
イベント発生部位＝ SOFTWARE（認証 VLAN）	• 認証 VLAN に関するログの説明文を修正しました。

【Ver. 10.7 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位＝ VLAN	• Ring Protocol とマルチプルスパニングツリーの併用動作に関連する記述を変更しました。
イベント発生部位＝ VLAN（GSRP）	• Ring Protocol と GSRP の併用動作に関連する記述を変更しました。
イベント発生部位＝ VLAN（L2 ループ検知）	• 本項を追加しました。
イベント発生部位＝ SOFTWARE	• L2 ループ検知に関するログを追加しました。

【Ver. 10.6 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位＝ SOFTWARE	• MAC 認証関連のログを追加しました。

【Ver. 10.5 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位＝ SOFTWARE	• DHCP サーバ関連のログを追加しました。

【Ver. 10.4 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位＝ VLAN（Ring Protocol）	• 本項を追加しました。
イベント発生部位＝ SOFTWARE	• sFlow 統計関連のログを追加しました。 • Ring Protocol 関連のログを追加しました。

【Ver. 10.3 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位 =ACCESS	• ローカルコマンド承認関連のログを追加しました。 • 一部の RADIUS/TACACS+ の付加情報上位 4 桁を変更しました。

項目	追加・変更内容
イベント発生部位 =VLAN	• ルートガード機能使用時，BPDU を受信したときのログを追加しました。
イベント発生部位 =SOFTWARE	• IEEE802.3ah/UDLD 関連のログを追加しました。 • マルチキャスト関連のログを追加しました。 • Web 認証関連のログを追加しました。
イベント発生部位 =SOFTWARE（認証 VLAN）	• 認証 VLAN 関連のログを追加しました。
イベント発生部位 =PORT	• IEEE802.3ah/UDLD 関連のログを追加しました。 • 片方向リンク障害の検出関連のログを追加しました。

【Ver. 10.2 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
ログのコード情報	• イベント発生部位の識別子を LINE から PORT に変更しました。
イベント発生部位＝ CONFIG	• 項番 1 ～ 3 のメッセージ識別子を変更しました。 • 新規ログメッセージ（項番 4）を追加しました。
イベント発生部位＝ VLAN	• メッセージ識別子 20110030 のログメッセージを削除しました。 • 新規ログメッセージ（項番 37，38，45，46）を追加しました。 • メッセージ中の NIF を NIF No. に，Line を Port No. に変更しました。
イベント発生部位＝ MAC	• メッセージ中の NIF を NIF No. に，Line を Port No. に変更しました。
イベント発生部位＝ SOFTWARE	• メッセージ識別子 00005007，00005017 のログメッセージを削除しました。 • 新規ログメッセージ（項番 13，14，15，39，56，57，72，73）を追加しました。 • 項番 48，69 のメッセージ識別子を変更しました。
イベント発生部位＝ PORT	• イベント発生部位の識別子を LINE から PORT に変更しました。 • 新規ログメッセージ（項番 2，4，21 ～ 29）を追加しました。 • 項番 1，3，5 ～ 16，18 ～ 20，30 ～ 32 のログメッセージを変更しました。
イベント発生部位＝ PS	• 新規ログメッセージ（項番 1，3，6）を追加しました。
イベント発生部位 =EQUIPMENT	• 新規ログメッセージ（項番 1）を追加しました。
イベント発生部位 =FAN	• 本項を追加しました。

はじめに

■対象製品およびソフトウェアバージョン

このマニュアルは AX2400S モデルを対象に記載しています。また，AX2400S のソフトウェア Ver. 11.5 の機能について記載しています。ソフトウェア機能は，ソフトウェア OS-L2 およびオプションライセンスによってサポートする機能について記載します。
操作を行う前にこのマニュアルをよく読み，書かれている指示や注意を十分に理解してください。また，このマニュアルは必要なときにすぐ参照できるよう使いやすい場所に保管してください。
なお，このマニュアルでは特に断らないかぎり OS-L2 の機能について記載しますが，オプションライセンスの機能については以下のマークで示します。

【OP-OTP】：
　オプションライセンス OP-OTP についての記述です。

【OP-VAA】：
　オプションライセンス OP-VAA についての記述です。

■このマニュアルの訂正について

このマニュアルに記載の内容は，ソフトウェアと共に提供する「リリースノート」および「マニュアル訂正資料」で訂正する場合があります。

■対象読者

本装置を利用したネットワークシステムを構築し，運用するシステム管理者の方を対象としています。
また，次に示す知識を理解していることを前提としています。

- ネットワークシステム管理の基礎的な知識

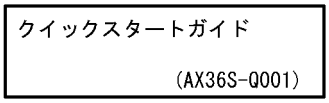
■このマニュアルの URL

このマニュアルの内容は下記 URL に掲載しております。
http://www.alaxala.com

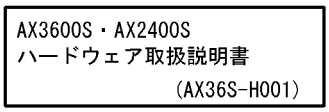
■マニュアルの読書手順

本装置の導入，セットアップ，日常運用までの作業フローに従って，それぞれの場合に参照するマニュアルを次に示します。

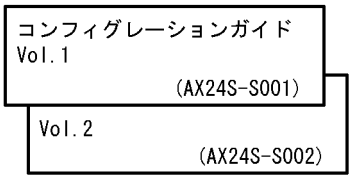
●装置の開梱から，初期導入時の基本的な設定を知りたい



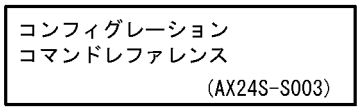
●ハードウェアの設備条件，取扱方法を調べる



●ソフトウェアの機能，
コンフィグレーションの設定，
運用コマンドについての確認を知りたい



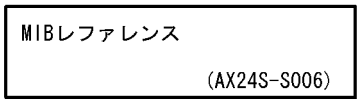
●コンフィグレーションコマンドの
入力シンタックス，パラメータ詳細
について知りたい



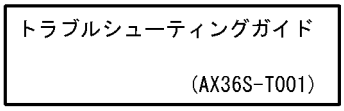
●運用コマンドの入力シンタックス，
パラメータ詳細について知りたい

●メッセージとログについて調べる

●MIBについて調べる



●トラブル発生時の対処方法について
知りたい



■このマニュアルでの表記

AC	Alternating Current
ACK	ACKnowledge
ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line
ALG	Application Level Gateway
ANSI	American National Standards Institute
ARP	Address Resolution Protocol
AS	Autonomous System
AUX	Auxiliary
BGP	Border Gateway Protocol
BGP4	Border Gateway Protocol - version 4
BGP4+	Multiprotocol Extensions for Border Gateway Protocol - version 4
bit/s	bits per second　　*bpsと表記する場合もあります。
BPDU	Bridge Protocol Data Unit
BRI	Basic Rate Interface
CC	Continuity Check
CDP	Cisco Discovery Protocol

CFM	Connectivity Fault Management
CIDR	Classless Inter-Domain Routing
CIR	Committed Information Rate
CIST	Common and Internal Spanning Tree
CLNP	ConnectionLess Network Protocol
CLNS	ConnectionLess Network System
CONS	Connection Oriented Network System
CRC	Cyclic Redundancy Check
CSMA/CD	Carrier Sense Multiple Access with Collision Detection
CSNP	Complete Sequence Numbers PDU
CST	Common Spanning Tree
DA	Destination Address
DC	Direct Current
DCE	Data Circuit terminating Equipment
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol
DIS	Draft International Standard/Designated Intermediate System
DNS	Domain Name System
DR	Designated Router
DSAP	Destination Service Access Point
DSCP	Differentiated Services Code Point
DTE	Data Terminal Equipment
DVMRP	Distance Vector Multicast Routing Protocol
E-Mail	Electronic Mail
EAP	Extensible Authentication Protocol
EAPOL	EAP Over LAN
EFM	Ethernet in the First Mile
ES	End System
FAN	Fan Unit
FCS	Frame Check Sequence
FDB	Filtering DataBase
FQDN	Fully Qualified Domain Name
FTTH	Fiber To The Home
GBIC	GigaBit Interface Converter
GSRP	Gigabit Switch Redundancy Protocol
HMAC	Keyed-Hashing for Message Authentication
IANA	Internet Assigned Numbers Authority
ICMP	Internet Control Message Protocol
ICMPv6	Internet Control Message Protocol version 6
ID	Identifier
IEC	International Electrotechnical Commission
IEEE	Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.
IETF	the Internet Engineering Task Force
IGMP	Internet Group Management Protocol
IP	Internet Protocol
IPCP	IP Control Protocol
IPv4	Internet Protocol version 4
IPv6	Internet Protocol version 6
IPV6CP	IP Version 6 Control Protocol
IPX	Internetwork Packet Exchange
ISO	International Organization for Standardization
ISP	Internet Service Provider
IST	Internal Spanning Tree
L2LD	Layer 2 Loop Detection
LAN	Local Area Network
LCP	Link Control Protocol
LED	Light Emitting Diode
LLC	Logical Link Control
LLDP	Link Layer Discovery Protocol
LLQ+3WFQ	Low Latency Queueing + 3 Weighted Fair Queueing
LSP	Label Switched Path
LSP	Link State PDU
LSR	Label Switched Router
MA	Maintenance Association
MAC	Media Access Control
MC	Memory Card
MD5	Message Digest 5
MDI	Medium Dependent Interface
MDI-X	Medium Dependent Interface crossover
MEP	Maintenance association End Point
MIB	Management Information Base
MIP	Maintenance domain Intermediate Point
MRU	Maximum Receive Unit
MSTI	Multiple Spanning Tree Instance
MSTP	Multiple Spanning Tree Protocol

MTU	Maximum Transfer Unit
NAK	Not AcKnowledge
NAS	Network Access Server
NAT	Network Address Translation
NCP	Network Control Protocol
NDP	Neighbor Discovery Protocol
NET	Network Entity Title
NLA ID	Next-Level Aggregation Identifier
NPDU	Network Protocol Data Unit
NSAP	Network Service Access Point
NSSA	Not So Stubby Area
NTP	Network Time Protocol
OADP	Octpower Auto Discovery Protocol
OAM	Operations,Administration,and Maintenance
OSPF	Open Shortest Path First
OUI	Organizationally Unique Identifier
PAD	PADding
PAE	Port Access Entity
PC	Personal Computer
PCI	Protocol Control Information
PDU	Protocol Data Unit
PICS	Protocol Implementation Conformance Statement
PID	Protocol IDentifier
PIM	Protocol Independent Multicast
PIM-DM	Protocol Independent Multicast-Dense Mode
PIM-SM	Protocol Independent Multicast-Sparse Mode
PIM-SSM	Protocol Independent Multicast-Source Specific Multicast
PoE	Power over Ethernet
PRI	Primary Rate Interface
PS	Power Supply
PSNP	Partial Sequence Numbers PDU
QoS	Quality of Service
RA	Router Advertisement
RADIUS	Remote Authentication Dial In User Service
RDI	Remote Defect Indication
REJ	REJect
RFC	Request For Comments
RIP	Routing Information Protocol
RIPng	Routing Information Protocol next generation
RMON	Remote Network Monitoring MIB
RPF	Reverse Path Forwarding
RQ	ReQuest
RSTP	Rapid Spanning Tree Protocol
SA	Source Address
SD	Secure Digital
SDH	Synchronous Digital Hierarchy
SDU	Service Data Unit
SEL	NSAP SELector
SFD	Start Frame Delimiter
SFP	Small Form factor Pluggable
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol
SNAP	Sub-Network Access Protocol
SNMP	Simple Network Management Protocol
SNP	Sequence Numbers PDU
SNPA	Subnetwork Point of Attachment
SPF	Shortest Path First
SSAP	Source Service Access Point
STP	Spanning Tree Protocol
TA	Terminal Adapter
TACACS+	Terminal Access Controller Access Control System Plus
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol
TLA ID	Top-Level Aggregation Identifier
TLV	Type, Length, and Value
TOS	Type Of Service
TPID	Tag Protocol Identifier
TTL	Time To Live
UDLD	Uni-Directional Link Detection
UDP	User Datagram Protocol
UPC	Usage Parameter Control
UPC-RED	Usage Parameter Control - Random Early Detection
VAA	VLAN Access Agent
VLAN	Virtual LAN
VPN	Virtual Private Network
VRF	Virtual Routing and Forwarding/Virtual Routing and Forwarding

```
            Instance
VRRP        Virtual Router Redundancy Protocol
WAN         Wide Area Network
WDM         Wavelength Division Multiplexing
WFQ         Weighted Fair Queueing
WRED        Weighted Random Early Detection
WS          Work Station
WWW         World-Wide Web
XFP         10 gigabit small Form factor Pluggable
```

■常用漢字以外の漢字の使用について

このマニュアルでは，常用漢字を使用することを基本としていますが，次に示す用語については，常用漢字以外を使用しています。

- 宛て（あて）
- 宛先（あてさき）
- 溢れ（あふれ）
- 迂回（うかい）
- 鍵（かぎ）
- 個所（かしょ）
- 筐体（きょうたい）
- 桁（けた）
- 毎（ごと）
- 閾値（しきいち）
- 芯（しん）
- 溜まる（たまる）
- 誰（だれ）
- 必須（ひっす）
- 輻輳（ふくそう）
- 閉塞（へいそく）
- 漏洩（ろうえい）

■ kB(バイト) などの単位表記について

1kB(キロバイト)，1MB(メガバイト)，1GB(ギガバイト)，1TB(テラバイト) はそれぞれ 1024 バイト，1024^2 バイト，1024^3 バイト，1024^4 バイトです。

目次

1 運用メッセージとログ

この章ではトラブルが発生した場合にどの部分で障害が発生しているかを特定するための手段となる障害部位，運用メッセージ，ログについて説明しています。

1.1　運用メッセージの確認

本装置は動作状態の変化や障害情報など，管理者に通知することを目的とした情報を運用メッセージとして運用端末に出力します。運用メッセージは運用端末に出力するほか，運用ログとして装置内に保存します。この情報で装置の運用状態を管理できます。

1.1.1　メッセージの種類

本装置が出力するメッセージの種類と参照先を，次の表に示します。メッセージの種類のうち，本装置が出力する装置関連の障害情報やイベント情報を運用メッセージと呼びます。

表 1-1　メッセージの種類と参照先

メッセージの種類	内容	参照先
コンフィグレーションエラーメッセージ	コンフィグレーションコマンド入力に対して本装置が出力するメッセージ	「コンフィグレーションコマンドレファレンス」の「コンフィグレーション編集時のエラーメッセージ」
コマンド応答メッセージ	コマンド入力に対して本装置が出力するメッセージ	「運用コマンドレファレンス」の各コマンドの［応答メッセージ］
運用メッセージ	装置関連の障害情報およびイベント情報	「2　装置関連の障害およびイベント情報」

1.1.2　運用メッセージの内容

運用メッセージのサポート内容を次の表に示します。

表 1-2　運用メッセージのサポート内容

分類	機能項目	運用メッセージ
装置関連の障害およびイベント情報	装置のイベント発生部位ごとの障害情報	○
	装置のイベント発生部位ごとのイベント情報	○

（凡例）
　○：メッセージ表示します。

1.1.3　運用メッセージのフォーマット

(1) 装置関連の障害およびイベント情報

装置関連の障害およびイベント情報のフォーマットを次の図に示します。

図 1-1　装置関連の障害およびイベント情報のフォーマット

```
mm/dd hh:mm:ss  ee  kkkkkkkk  [iii・・・iii]  xxxxxxxx  yyyy:yyyyyyyyyyyy  ttt～ttt
      1         2       3           4              5           6              7
```

1. 時刻：メッセージで示す事象の発生した時刻を月日時分秒で表示します。
2. イベントレベル
3. イベント発生部位または機能
4. イベント発生インタフェース識別子（表示の有無はイベント部位に依存）
5. メッセージ識別子

6. 付加情報
7. メッセージテキスト

イベントレベル，イベント発生部位または機能など，メッセージに含まれるコード情報はログと同じです。詳細については，「1.2.4　種別ログのフォーマット」を参照してください。

1.1.4　運用メッセージの出力

(1) 装置関連の障害およびイベント情報

装置関連の障害およびイベント情報は，すべてのメッセージを運用端末に画面出力します。障害重度またはイベントの内容によって，イベントレベルと呼ばれる E3 ～ E9 の 7 段階にレベル分けされています。set logging console コマンドでイベントレベルを指定すると，指定したレベル以下のメッセージの画面出力を抑止できます。

1.2 ログの確認

1.2.1 ログの種類

本装置が取得するログは運用ログと種別ログの 2 種類があります。運用ログは入力したコマンド，コマンド応答メッセージおよび運用メッセージとして運用端末に出力する情報で選択した操作情報および操作によるイベント情報をログとして時系列に取得します。種別ログは運用メッセージのうち装置関連の障害およびイベント情報の統計情報をログとして取得します。

運用ログと種別ログの特徴を次の表に示します。

表 1-3 運用ログと種別ログの特徴

項目	運用ログ	種別ログ
ログの内容	• 発生したイベントを時系列に取得します。	• 同一のイベントにつき，最も古い発生時刻と最新の発生時刻，累積回数の統計情報を記録します。
取得の対象とする保守情報	• 入力したコマンド • コマンド応答メッセージ • 装置関連の障害およびイベント情報	• 装置関連の障害およびイベント情報
ログの取得数	• ログの取得数は 1500 エントリです。この内，先頭から 1000 エントリはすべてのログを時系列に保存します。 • 残り 500 エントリは上記 1000 エントリから溢れた古いログのうち，ログ種別が 'KEY'，'RSP'，'ERR'，'EVT' のログだけ時系列に保存します。 • 1 エントリは 80 文字となります。取得したログが 100 文字の場合は 2 エントリ分となります。	• ログ取得数は 500 エントリです。 • ログ取得数を超えた場合は，新たに取得されたログよりもイベントレベルの低いログを削除し，新しいログを取得します。
ログの取得数オーバ処理	• ログ取得数が 1000 エントリを超えた場合は，溢れた古いログの種類により削除処理が異なります。 • 溢れた古いログのうち，ログ種別が 'KEY'，'RSP'，'ERR'，'EVT' 以外のログは削除されます。 • 溢れた古いログのうち，ログ種別が 'KEY'，'RSP'，'ERR'，'EVT' のログは，1001 ～ 1500 エントリに保存されます。1500 エントリを超えた場合は，古いログを削除します。	• ログ取得数が 500 エントリを超えた場合は，新たに取得されたログよりもイベントレベルの低いログを削除して新しいログを取得します。

1.2.2 ログの内容

運用ログ，種別ログとして取得する情報を次の表に示します。

表 1-4 運用ログ，種別ログとして取得する情報

分類	内容	運用ログ	種別ログ	参照先
入力したコマンド	オペレータが運用端末より入力したコマンド	○	×	－
コマンド応答メッセージ	コマンド入力に対して装置が出力するメッセージ	○	×	「運用コマンドレファレンス」の各コマンドの［応答メッセージ］

分類	内容	運用ログ	種別ログ	参照先
装置関連の障害およびイベント情報	装置のイベント発生部位ごとの障害情報	○	○	「2 装置関連の障害およびイベント情報」
	装置のイベント発生部位ごとのイベント情報	○	○	

（凡例）
○：メッセージ表示，またはログを取得します。
×：メッセージ表示しません。また，ログも取得しません。
－：該当しません。

1.2.3 運用ログのフォーマット

運用中のメッセージは運用ログとして装置内に保存します。ログの格納時は運用メッセージとして画面出力する情報に**ログ種別**を付加したフォーマットになります。

(1) 装置関連の障害およびイベント情報

装置関連の障害およびイベント情報のフォーマットを次の図に示します。

図 1-2 装置関連の障害およびイベント情報のフォーマット

```
kkk  mm/dd hh:mm:ss  ee  kkkkkkkk  [iii・・・iii]  xxxxxxxx  yyyy:yyyyyyyyyyyy
 1         2         3      4           5              6          7

ttt～ttt
   8
```

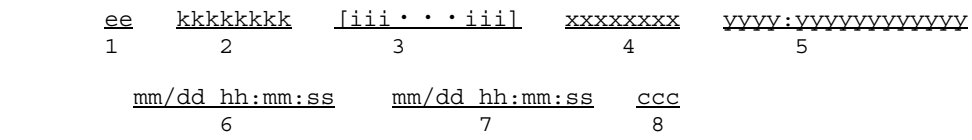
1. ログ種別・・・提供機能単位に識別コードを 3 文字の文字列で表示したもの。
   - ERR：装置のイベント発生部位ごとの障害情報
   - EVT：装置のイベント発生部位ごとのイベント情報
2. 時刻・・・採取月，日，時，分，秒をテキスト表示します。
3. イベントレベル
4. イベント発生部位または機能
5. イベント発生インタフェース識別子（表示の有無はイベント部位に依存）
6. メッセージ識別子
7. 付加情報
8. メッセージテキスト

1.2.4 種別ログのフォーマット

装置関連の障害情報およびイベント情報は発生順に運用ログとして保存しますが，このほかに種別ログとしても保存します。種別ログは，情報をメッセージ識別子ごとに分類した上で，同事象が最初に発生した日時および最後に発生した日時と累積回数を記録します。

種別ログのフォーマットを次の図に示します。

図 1-3 種別ログのフォーマット



1. イベントレベル（E9 ～ E3）
2. イベント発生部位または機能
3. イベント発生インタフェース識別子（表示の有無はイベント発生部位に依存）
4. メッセージ識別子
5. 付加情報
6. 該当障害の最新の発生時刻
7. 該当障害の最旧の発生時刻
8. 該当障害の発生回数

1.2.5 ログのコード情報

(1) ログ種別

運用ログに付加されるログ種別には次の種類があります。

- ユーザのコマンド操作とその結果
- 装置が出力する動作情報
- 障害情報

ログとして取得する情報とログ種別の対応を次の表に示します。運用ログのうち装置関連の障害およびイベント情報，および種別ログにはイベントレベルを付加します。

表 1-5 ログとして取得する情報とログ種別の対応

取得する情報	ログ種別	内容	イベントレベル
入力コマンドで選択した操作情報	KEY	オペレータが運用端末から入力したコマンドで選択した操作情報	－
コマンド応答メッセージの操作によるイベント情報	RSP	コマンド入力に対して装置が出力するメッセージの操作によって発生したイベント情報	－
装置関連の障害およびイベント情報	ERR	装置の各イベント発生部位ごとの障害情報	E9 ～ E5
	EVT	装置の各イベント発生部位ごとのイベント情報	E4，E3，R8 ～ R5
レイヤ 2 認証情報	AUT	レイヤ 2 認証機能の各プログラムで採取する情報。対応する運用コマンドで表示。 • show dot1x logging • show web-authentication logging • show mac-authentication logging	－
DHCP snooping 情報	DSN	DHCP snooping で採取する情報。対応する運用コマンドで表示。 • show ip dhcp snooping logging	－

（凡例） －：該当しません。

(2) イベントレベル

種別ログで示されるイベントは，重要度によって 7 段階でレベル分けされます。イベントレベルと内容を次の表に示します。

表 1-6 イベントレベルと内容

イベントレベル	表示内容（種別）	内容
9	E9（致命的障害）	装置全体が停止する障害 （装置再起動または装置運用停止）
8	E8（重度障害） R8（重度障害回復）	FAN，電源または装置の一部が停止する障害 • 障害がハードウェア部分障害の場合，該当ハードウェアの再起動を伴う
7	E7（ソフトウェア部分障害） R7（ソフトウェア部分障害回復）	ソフトウェアの一部が停止する障害
6	E6 R6	未使用
5	E5 R5	未使用
4	E4（ネットワーク障害）	回線に関する情報（LAN）
3	E3（警告）	警告

なお，イベントレベル E9 から E5 の障害が回復した場合，各レベルに対応して R8 から R5 までのレベル表示で運用メッセージを出力します。また，E9 から E5 の障害が発生した場合，運用ログおよび種別ログを「/usr/var/log/system.log」，「/usr/var/log/error.log」として装置内メモリに自動保存を行います。

(3) イベント発生部位

種別ログでは発生したイベントの部位または機能を識別子で示します。イベント発生部位を次の表に示します。

表 1-7 イベント発生部位

項番	識別子	イベント発生部位または機能
1	CONFIG	コンフィグレーション
2	ACCESS	装置アクセス権制御
3	IP	IP 制御機能
4	VLAN	VLAN 制御機能
5	MAC	MAC 制御機能
6	SOFTWARE	SOFTWARE 制御機能
7	PORT	ポート制御機能
8	ULR	アップリンク・リダンダント制御機能
9	PS	PS 制御機能
10	EQUIPMENT	EQUIPMENT 制御機能

(4) イベント発生インタフェース識別子

イベントが発生したインタフェース部位を識別子で示します。本装置のインタフェース部位の部位識別子の表示形式を次の表に示します。

表 1-8 インタフェース部位識別子の表示形式

識別子の表示形式	インタフェース部位
GigabitEthernet 0/1	10/100/1000BASE-T，1000BASE-X 部
TenGigabitEthernet 0/1	10GBASE-R 部

（凡例）
1：ポート番号

(5) メッセージ識別子および付加情報

発生したイベントの内容をコードで示したものです。内容の詳細は「2 装置関連の障害およびイベント情報」を参照してください。

(6) 該当イベントの最新および最旧の発生時刻

該当イベントが最初に発生した時刻および最新の発生時刻を示します。

(7) 該当イベントの発生回数

該当イベントが繰り返し発生している場合にその累計を示します。累計はログの採取開始から現在までに発生したイベントの回数となります。該当イベントが 255 以上発生している場合，発生回数の表示は 255 となります。

1.2.6 ログの自動保存と参照

(1) ログの自動保存

運用ログと種別ログは，以下に示す契機で内蔵フラッシュメモリ上へ自動的に保存されます。またログの保存先を次の表に示します。なお，コンフィグレーションコマンド no logging syslog-dump を設定している場合は，以下の 1. の契機にだけ自動的に保存されます。

ログを自動保存する契機
1. 本装置を起動させた場合
2. イベントレベル E9 から E5 の重度障害が発生した場合
3. 運用コマンドの reload コマンドにより装置の再起動を行った場合
4. ログインまたはログアウトを行った場合
5. ppupdate に伴う装置の再起動を行った場合
6. リセットスイッチを押して装置再起動を行った場合

表 1-9 ログの保存先

ログの種類	装置内メモリの保存先
運用ログ	/usr/var/log/system.log へ保存
種別ログ	/usr/var/log/error.log へ保存

(2) ログの参照とファイルの作成方法

運用ログおよび種別ログは show logging コマンドを使用して参照します。これらのログはファイルとして取り出すこともできます。ファイルは show logging コマンド実行時にリダイレクト指定して作成します。show logging コマンド以外のコマンド出力結果をファイルとして取り出す場合も，同様にリダイレクト指

定します。コマンドのリダイレクトによってファイルを作成する場合の格納ディレクトリを次の表に示します。

表 1-10 格納ディレクトリ

項目	格納ディレクトリ	備考
ユーザホームディレクトリ	/usr/home/< ユーザアカウント名 >/	装置内メモリに格納
テンポラリディレクトリ	/tmp/	装置が電源断や reload コマンドによって停止した場合，格納ファイルは削除されます。

次に，show logging コマンドを実行し，ログ情報のバックアップを作成する例を示します。

運用ログを装置内メモリにバックアップ

```
> show logging > /usr/home/<ユーザアカウント名>/<ファイル名>
>
```

(3) リモートホストでのログ取得

syslog 出力機能を使用してリモートホスト側にもログを取得できます。ただし，syslog 出力機能ではフレームロスなどによってログ情報が紛失する可能性があります。

syslog 出力機能については，「コンフィグレーションコマンドレファレンス　logging facility」を参照してください。

(4) ログの E-Mail 送信機能

E-Mail 送信機能を使用してリモートホスト，PC などにログ情報を送ることができます。この機能ではメールの受信には対応していません。この機能によって送付されたメールに対して返信を行うと送信エラーとなります。

E-Mail 送信機能については，「コンフィグレーションコマンドレファレンス　logging email-from，コンフィグレーションコマンドレファレンス　logging email-server」を参照してください。

2 装置関連の障害およびイベント情報

この章では，装置関連の障害およびイベント情報の内容について説明します。装置関連の障害およびイベント情報は，すべてのメッセージを運用端末に画面出力します。障害重度またはイベントの内容によって，イベントレベルと呼ばれる E3 ～ E9 の 7 段階にレベル分けされています。set logging console コマンドでイベントレベルを指定すると，指定したレベル以下のメッセージの画面出力を抑止できます。

2.1 コンフィグレーション

2.1.1 イベント発生部位＝ CONFIG

イベント発生部位 =CONFIG の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 2-1 イベント発生部位 =CONFIG の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	CONFIG	09300001	0100	**This system started with the default configuration file. because the startup configuration file is not found or broken.**
	スタートアップコンフィグレーションファイルがない，または読み込めないため，デフォルト設定情報で運用を開始しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. コンフィグレーションファイルを待避している場合は copy コマンドを使用し，保存しているコンフィグレーションファイルをスタートアップコンフィグレーションファイルに反映してください。 2. コンフィグレーションファイルを待避していない場合は，新しくコンフィグレーションファイルを作成してください。				
2	E3	CONFIG	09300002	0100	**Configuration command syntax error. line <line number> : "<error syntax>"**
	スタートアップコンフィグレーションファイルで構文誤りを検出したのでランニングコンフィグレーションへの反映をスキップしました。 [メッセージテキストの表示説明] <line number>　対象のコンフィグレーションコマンドの行番号 <error syntax>　対象のコンフィグレーションコマンドの構文 [対応] 確認だけしてください。				
3	E3	CONFIG	09300007	0100	**Configuration edit status forcedly finished.**
	コンフィグレーションの状態を編集可能状態から編集終了状態に強制的に変更しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] コンフィグレーションコマンドモードにいる全ユーザをコンフィグレーションコマンドモードから exit した後，再度編集を開始してください。				
4	E3	CONFIG	09300008	0100	**Cannot set the automatic setting configuration command.:<command>**
	コンフィグレーションコマンドの自動設定に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <command>　コマンド名 [対応] 該当コマンドを手動で設定してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
5	E3	CONFIG	09600006	0100	**Configuration access management error. process<process name>:pid<process id>:time <time>**
	コンフィグレーションに長時間アクセスしているプロセスがいたため，ロックを解放し自動的に復旧しました。 [メッセージテキストの表示説明] <process name>　発生プロセス名 <process id>　発生プロセス ID <time>　発生時刻（曜日 月 日 時 : 分 : 秒 年） [対応] なし。				

2.2 アクセス

2.2.1 イベント発生部位＝ ACCESS

イベント発生部位 =ACCESS の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 2-2 イベント発生部位 =ACCESS の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	ACCESS	00000001	0201 0205	**Unknown host address <ip address>.**
	telnet または ftp で接続しようとしましたが，<ip address> からの接続を許可しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address>　IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス [対応] 1. 本装置に対して不正なアクセス（コンフィグレーションで許可された以外のリモートホストからのアクセス）が行われた可能性があります。IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスが <ip address> のリモートホストをチェックしてください。 2. <ip address> からのリモートアクセスを許可している場合はコンフィグレーションに誤りがある可能性があります。コンフィグレーションをチェックしてください。 3. <ip address> からのリモートアクセスを許可したい場合はコンフィグレーションでアクセス許可の指定を行ってください。				
2	E3	ACCESS	00000002	0201 0205	**Login incorrect <user name>.**
	<user name> のアカウントでログインしようとしましたが，ログインを許可しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <user name>　ユーザ名 [対応] 1. 本装置に対してコンソールまたはコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正なアクセス（アカウント，パスワード認証で失敗）が行われた可能性があります。コンソールまたはコンフィグレーションで許可したリモートホストの運用状況を確認してください。 2. このログは正規のユーザがログイン時に誤った操作をした場合にも収集されます。したがって，このログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がない場合もあります。 3. 本装置に adduser コマンドにより登録済みのアカウントかどうかを確認してください。 （確認方法：ls /usr/home でホームディレクトリがあるか確認）				
3	E3	ACCESS	00000003	0201 0205	**Login refused for too many users logged in.**
	telnet で接続しようとしましたが，ログインユーザ数をオーバしたため，接続を許可しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 現在ログインしているユーザ数を確認してください。 2. 必要であれば，コンフィグレーションでログインできるユーザ数の制限を増加させてください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
4	E3	ACCESS	00005002	0200	**Login <user name> from <host> (<term>).**
	ユーザがログインしました。 [メッセージテキストの表示説明] <user name>　ユーザ名 <host>　ホスト識別子 • リモート運用端末の場合：IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス • コンソール端末の場合：console <term>　端末名 • リモート運用端末の場合：ttyp0 ～ • コンソール端末の場合：tty00 [対応] なし。				
5	E3	ACCESS	00005003	0200	**Logout <user name> from <host> (<term>).**
	ユーザがログアウトしました。 [メッセージテキストの表示説明] <user name>　ユーザ名 <host>　ホスト識別子 • リモート運用端末の場合：IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス • コンソール端末の場合：console <term>　端末名 • リモート運用端末の場合：ttyp0 ～ • コンソール端末の場合：tty00 [対応] なし。				
6	E3	ACCESS	00010001	0204	**SNMP agent program received packet from <ip address> with unexpected community name <community name>.**
	SNMP エージェントは，<ip address> から，期待していないコミュニティ名 <community name> のパケットを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address>　SNMP マネージャの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス <community name>　コミュニティ名 [対応] 本装置に対してコンフィグレーションで許可している SNMP マネージャ以外からアクセスが行われました。このメッセージは，SNMP マネージャの IP アドレスとコミュニティ名がコンフィグレーションで許可している SNMP マネージャの IP アドレスとコミュニティ名と一致していない場合に出力します。本装置にアクセスする SNMP マネージャの IP アドレスとコミュニティ名が <ip address> と <community name> に一致しているかコンフィグレーションを確認してください。一致していない場合，不正なアクセスが行われている可能性があります。<ip address> の SNMP マネージャに対して，アクセスしないよう SNMP マネージャの管理者に連絡してください。 本装置では不正な IP アドレスまたはコミュニティからのアクセスに対して，運用ログの連続出力を抑止しています。最大 16 個の不正アクセス IP アドレス情報を保持し，保持されている IP アドレスからの不正アクセスログは 128 回に 1 回出力します。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
7	E3	ACCESS	00030001	0201 0205 0208 0209	**Local authentication succeeded.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，ローカル認証を行い認証に成功しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
8	E3	ACCESS	00030002	0201 0205 0208 0209	**Local authentication failed.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，ローカル認証を行い認証に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 本装置に対してコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正なアクセスが行われた可能性があります。リモートホストの運用状況を確認してください。 2. このログは正規のユーザがログイン時に誤った操作（パスワード入力間違いなど）をした場合にも収集されます。したがって，このログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がない場合もあります。				
9	E3	ACCESS	00030003	0201 0205 0208 0209	**RADIUS authentication accepted from <host>.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，RADIUS 認証を行い認証に成功しました。 [メッセージテキストの表示説明] <host>　RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] なし。				
10	E3	ACCESS	00030004	0201 0205 0208 0209	**RADIUS authentication rejected from <host>.** **"<message>"**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，RADIUS 認証を行いましたが，RADIUS サーバによって否認されました。 [メッセージテキストの表示説明] <host>　RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名 <message>　RADIUS サーバからの応答メッセージ [対応] 1. 本装置に対してコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正なアクセスが行われた可能性があります。リモートホストの運用状況を確認してください。 2. このログは正規のユーザがログイン時に誤った操作（パスワード入力間違いなど）をした場合にも収集されます。したがって，このログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がない場合もあります。 3. RADIUS サーバの設定を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
11	E3	ACCESS	00030005	0201 0205 0208 0209	**RADIUS server (<host>) didn't response.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，RADIUS 認証を行おうとしましたが，RADIUS サーバが応答を返しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <host>　RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] 1. RADIUS サーバの IP アドレスが誤っていないかコンフィグレーションを確認してください。 2. RADIUS サーバのポート番号が誤っていないかコンフィグレーションを確認してください。 3. RADIUS サーバが起動していることを確認してください。 4. RADIUS サーバ側のクライアント IP アドレスに本装置の IP アドレスが登録されていることを確認してください。				
12	E3	ACCESS	00030006	0201 0205 0208 0209	**RADIUS server configuration not defined.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，RADIUS 認証を行おうとしましたが，RADIUS サーバに関するコンフィグレーションがありませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. RADIUS コンフィグレーションが設定されているか確認してください。 2. RADIUS コンフィグレーションで，acct-only が指定され認証が抑止されていないか確認してください。				
13	E3	ACCESS	00030007	0201 0205 0208 0209	**Invalid response received from <host>.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，RADIUS/TACACS+ 認証を行いましたが，RADIUS/TACACS+ サーバからの応答が不正でした。 [メッセージテキストの表示説明] <host>　RADIUS/TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] RADIUS/TACACS+ 鍵が本装置と RADIUS/TACACS+ サーバ間で一致していることを確認してください。				
14	E3	ACCESS	00030008	0201 0205 0208 0209	**RADIUS authentication failed.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，RADIUS 認証を行い認証に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 本メッセージの他に RADIUS 認証に関する運用ログが出力されている場合は，そのメッセージを参照してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
15	E3	ACCESS	0003000a	0201 0205 0208 0209	**Can't communicate with RADIUS server (<host>).**
	RADIUS サーバと通信できません。 [メッセージテキストの表示説明] <host>　RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] 1. RADIUS サーバまでの経路があることを確認してください。 2. RADIUS サーバをホスト名で指定している場合は，名前解決ができることを確認してください。				
16	E3	ACCESS	0003000b	0201 0208	**RADIUS authorization response with no contents.**
	RADIUS コマンド承認を行いましたが，RADIUS サーバから正常に取得できたコマンドリストが一つもありませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] RADIUS サーバ側の設定（本装置のベンダー固有設定）に Class，Alaxala-Allow-Commands，Alaxala-Deny-Commands が正しく設定されていることを確認してください。				
17	E3	ACCESS	00030013	0201 0205 0208 0209	**TACACS+ authentication accepted from <host>.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，TACACS+ 認証を行い認証に成功しました。 [メッセージテキストの表示説明] <host>　TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] なし。				
18	E3	ACCESS	00030014	0201 0205 0208 0209	**TACACS+ authentication rejected from <host>.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，TACACS+ 認証を行いましたが，TACACS+ サーバにより否認されました。 [メッセージテキストの表示説明] <host>　TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] 1. 本装置に対してコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正なアクセスが行われた可能性があります。リモートホストの運用状況を確認してください。 2. 本ログは正規のユーザがログイン時に誤った操作（パスワード入力間違いなど）をした場合にも収集されます。したがって，本ログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がない場合もあります。 3. TACACS+ サーバの設定を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
19	E3	ACCESS	00030015	0201 0205 0208 0209	**TACACS+ server (<host>) didn't response.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，TACACS+ 認証，コマンド承認（TACACS+ コンフィグレーションでコマンド承認指定ありの場合）を行おうとしましたが，TACACS+ サーバが応答を返しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <host>　TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] 1. TACACS+ サーバの IP アドレスが誤っていないかコンフィグレーションを確認してください。 2. TACACS+ サーバが起動していることを確認してください。				
20	E3	ACCESS	00030016	0201 0205 0208 0209	**TACACS+ server configuration is not defined.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，TACACS+ 認証を行おうとしましたが，TACACS+ サーバに関するコンフィグレーションがありませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. TACACS+ コンフィグレーションが設定されているか確認してください。 2. TACACS+ コンフィグレーションで，acct-only が指定され認証が抑止されていないか確認してください。				
21	E3	ACCESS	00030018	0201 0205 0208 0209	**TACACS+ authentication failed.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，TACACS+ 認証を行い認証に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 他に TACACS+ 認証に関する運用ログが出力されている場合は，そのメッセージを参照してください。				
22	E3	ACCESS	0003001a	0201 0205 0208 0209	**Can't communicate with TACACS+ server (<host>).**
	TACACS+ サーバと通信できません。 [メッセージテキストの表示説明] <host>　TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] 1. TACACS+ サーバまでの経路があることを確認してください。 2. TACACS+ サーバをホスト名で指定している場合は，名前解決ができることを確認してください。 3. TACACS+ サーバのポート番号が誤っていないかコンフィグレーションを確認してください。 4. TACACS+ サーバが起動していることを確認してください。 5. TACACS+ サーバ側のクライアント IP アドレスに本装置の IP アドレスが登録されていることを確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
23	E3	ACCESS	0003001b	0201 0208	**TACACS+ authorization response with no contents.**
	TACACS+ コマンド承認を行いましたが，TACACS+ サーバから正常に取得できたコマンドリストが一つもありませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] TACACS+ サーバ側の設定（本装置のベンダー固有設定）に class，allow-commands，deny-commands が正しく設定してあることを確認してください。				
24	E3	ACCESS	0003001c	0201 0208	**TACACS+ authorization rejected from <host>.**
	TACACS+ コマンド承認を行いましたが，TACACS+ サーバにより否認されました。 [メッセージテキストの表示説明] <host>　TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] 1. TACACS+ サーバ側の設定（本装置のベンダー固有設定）の service 名が正しいことを確認してください。 2. TACACS+ サーバ側のその他の設定を確認してください。				
25	E3	ACCESS	0003001d	0201 0208	**Local authorization response with no contents.**
	ローカルコマンド承認を行いましたが，ユーザ名とそれに対応したコマンドクラスまたはコマンドリストの設定がありませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ローカルログインで認証されたユーザに，コマンドクラス（username view-class）またはコマンドリスト（username view・parser view・commands exec）の設定が正しく設定されていることを確認してください。				

2.3 プロトコル

2.3.1 イベント発生部位＝ IP

イベント発生部位 =IP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 2-3 イベント発生部位 =IP の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E4	IP	2600000d	0600	**The IP configuration to VLAN (<vlan id>) can't be registered at hardware tables.**
	VLAN (<vlan id>) への IP のコンフィグレーションがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　IP のコンフィグレーションを設定した VLAN ID [対応] 1. VLAN ID を変更してください。 2. 収容条件を見直してください。 ただし，ハードウェアが採用しているキャッシュの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。				
2	E4	IP	50000006	0600	**The number of pieces of the ARP entry exceeds the capacity of this system.**
	ARP テーブルのエントリ数が本装置の収容条件を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show system コマンドで，現在の ARP テーブルのエントリ数が収容条件を超えていないか確認してください。収容条件を超えている場合は，次に示す対応を行ってください。 1. arp コンフィグレーションに不要な情報があれば削除してください。 2. 不要なエントリが動的に生成されていた場合は，clear arp-cache コマンドを実行し，エントリを削除してください。 3. ネットワークシステム構成を見直し，ARP テーブルのエントリ数を削減できるシステム構成に変更してください。				
3	E4	IP	60000002	0600	**The number of pieces of the NDP entry exceeds the capacity of this system.**
	NDP テーブルのエントリ数が本装置の収容条件を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show system コマンドで，現在の NDP テーブルのエントリ数が収容条件を超えていないか確認してください。収容条件を超えている場合は，次に示す対応を行ってください。 1. ndp コンフィグレーションに不要な情報があれば削除してください。 2. 不要なエントリが動的に生成されていた場合は，clear ipv6 neighbors コマンドを実行し，エントリを削除してください。 3. ネットワークシステム構成を見直し，NDP テーブルのエントリ数を削減できるシステム構成に変更してください。				

2.3.2 イベント発生部位＝ VLAN

イベント発生部位 =VLAN の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 2-4 イベント発生部位 =VLAN の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	VLAN	20110002	0700	**STP(<mode>): This bridge becomes the Root Bridge.**
	本装置がルートブリッジになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID [対応] なし。				
2	E3	VLAN	20110003	0700	**STP(<mode>): This bridge becomes the Designated Bridge.**
	本装置が指定ブリッジになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID [対応] なし。				
3	E3	VLAN	20110006	0700	**STP(<mode>): Topology change detected - BPDU Timeout detected on the root port(<nif no.>/<port no.>).**
	ルートポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
4	E3	VLAN	20110007	0700	**STP(<mode>): Topology change detected - Topology Change Notification BPDU received on the port(<nif no.>/<port no.>).**
	トポロジ変更 BPDU を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • MST マルチプルスパニングツリー <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
5	E3	VLAN	20110011	0700	**STP(<mode>): Spanning Tree Protocol enabled - BPDU received on the Port Fast(<nif no.>/<port no.>).**
	PortFast 機能を設定しているポートで BPDU を受信したため，スパニングツリー対象ポートになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • MST　マルチプルスパニングツリー <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
6	E3	VLAN	20110012	0700	**STP (<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the root port(ChGr:<channel group number>).**
	ルートポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
7	E3	VLAN	20110013	0700	**STP (<mode>) : Topology change detected - Topology Change Notification BPDU received on the port(ChGr:<channel group number>).**
	トポロジ変更 BPDU を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • MST　マルチプルスパニングツリー <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
8	E3	VLAN	20110014	0700	**STP (<mode>) : Spanning Tree Protocol enabled - BPDU received on the Port Fast(ChGr:<channel group number>).**
	PortFast 機能を設定しているポートで BPDU を受信したため，スパニングツリー対象ポートになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • MST　マルチプルスパニングツリー <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
9	E3	VLAN	20110022	0700	**STP : Cleared MAC Address Table entry.**
	トポロジ変更 BPDU を受信したため，MAC Address Table のエントリをクリアしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
10	E3	VLAN	20110023	0700	**STP(<mode>): Topology change detected - BPDU Timeout detected on the alternate port(<nif no.>/<port no.>).**
	代替ポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
11	E3	VLAN	20110024	0700	**STP(<mode>): Topology change detected - BPDU Timeout detected on the backup port(<nif no.>/<port no.>).**
	バックアップポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
12	E3	VLAN	20110025	0700	**STP (<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the alternate port(ChGr:<channel group number>).**
	代替ポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
13	E3	VLAN	20110026	0700	**STP (<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the backup port(ChGr:<channel group number>).**
	バックアップポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
14	E3	VLAN	20110027	0700	**STP(MST): This bridge becomes the CIST Root Bridge.**
	本装置が CIST ルートブリッジになりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
15	E3	VLAN	20110028	0700	**STP(CIST): This bridge becomes the CIST Regional Root Bridge.**
	本装置が CIST 内部ルートブリッジになりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
16	E3	VLAN	20110029	0700	**STP(MST Instance <mst instance id>): This bridge becomes the MSTI Regional Root Bridge.**
	本装置が MSTI 内部ルートブリッジになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mst instance id>　MST インスタンス ID [対応] なし。				
17	E3	VLAN	20110031	0700	**STP(CIST): This bridge becomes the CIST Regional Designated Bridge.**
	本装置が CIST 内部指定ブリッジになりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
18	E3	VLAN	20110032	0700	**STP(MST Instance <mst instance id>): This bridge becomes the MSTI Regional Designated Bridge.**
	本装置が MSTI 内部指定ブリッジになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mst instance id>　MST インスタンス ID [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
19	E3	VLAN	21100001	0700	**IGMP snooping: IGMP querier changed on VLAN <vlan id> - lost IGMP querier address <ipv4 address>.**
	VLAN <vlan id> 上の IGMP クエリア <ipv4 address> からの広告（IGMPQuery）がなくなったため，IGMP クエリア情報を削除しました。IPv4 マルチキャストグループメンバー（受信ホスト）の有無を正しく確認できないため，IPv4 マルチキャストデータ中継が正しく行われません。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID <ipv4 address>　IPv4 アドレス [対応] 1. IGMP クエリア <ipv4 address> との接続を確認してください。 2. メッセージ識別子が 21100002 である IGMP クエリア変更メッセージが出力されているか確認してください。 3. IGMP クエリアとの接続が確認できない場合は，コンフィグレーションコマンド ip igmp snooping querier を実行して本装置の IGMP クエリア機能を有効にしてください。				
20	E3	VLAN	21100002	0700	**IGMP snooping: IGMP querier changed on VLAN <vlan id> - new IGMP querier address <ipv4 address>.**
	VLAN <vlan id> 上に新たな IGMP クエリアを確認したため，IGMP クエリアを <ipv4 address> に変更しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID <ipv4 address>　IPv4 アドレス [対応] なし。				
21	E3	VLAN	21100003	0700	**IGMP snooping: IPv4 address not defined on VLAN <vlan id>,IGMP querier function stopped.**
	VLAN <vlan id> 上の IGMP クエリアは IPv4 アドレスが設定されていないため停止しています。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID [対応] 1. 該当 VLAN に IPv4 アドレスを設定してください。 2. show igmp-snooping コマンドを使用し，該当 VLAN に設定した IPv4 アドレスが表示されるか確認してください。				
22	E3	VLAN	21100004	0700	**IGMP snooping:The number of the IGMP snooping entry exceeded the capacity of this system.**
	IGMP snooping で使用している学習エントリ数が装置の収容条件（最大 500）を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 収容条件を超えているので，エントリ数を削減できるようシステム構成や設定を見直してください。				
23	E3	VLAN	20110042	0700	**STP (<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the root port(VLID:<link id>).**
	ルートポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <link id>　仮想リンク ID [対応] 回線の状態を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
24	E3	VLAN	20110043	0700	**STP (<mode>) : Topology change detected - Topology Change Notification BPDU received on the port(VLID:<link id>).**
	トポロジ変更 BPDU を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <link id> 仮想リンク ID [対応] 回線の状態を確認してください。				
25	E3	VLAN	20110044	0700	**STP (<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the alternate port(VLID:<link id>).**
	代替ポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <link id> 仮想リンク ID [対応] 回線の状態を確認してください。				
26	E3	VLAN	20110045	0700	**STP (<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the backup port(VLID:<link id>).**
	バックアップポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <link id> 仮想リンク ID [対応] 回線の状態を確認してください。				
27	E3	VLAN	20130019	0700	**MAC Address Table entry cleared, because flush request received on port <port list>, Source MAC address <mac address>.**
	Flush Request フレームを受信し，MAC アドレステーブルをクリアしました。 [メッセージテキストの表示説明] <port list> ポート番号の範囲 <mac address> フレーム送信元の装置 MAC アドレス [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
28	E3	VLAN	21200001	0700	**MLD snooping: MLD querier changed on VLAN <vlan id> - lost MLD querier address <ipv6 address>.**
	VLAN <vlan id> 上の MLD クエリア <ipv6 address> からの広告（MLD Query）がなくなったため，MLD クエリア情報を削除しました。IPv6 マルチキャストグループリスナ（受信ホスト）の有無を正しく確認できないため，IPv6 マルチキャストデータ中継が正しく行われません。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID <ipv6 address>　IPv6 アドレス [対応] 1. MLD クエリア <ipv6 address> との接続を確認してください。 2. メッセージ識別子が 21200002 である MLD クエリア変更メッセージが出力されているか確認してください。 3. MLD クエリアとの接続が確認できない場合は，コンフィグレーションコマンド ipv6 mld snooping querier を実行して本装置の MLD クエリア機能を有効にしてください。				
29	E3	VLAN	21200002	0700	**MLD snooping: MLD querier changed on VLAN <vlan id> - new MLD querier address <ipv6 address>.**
	VLAN <vlan id> 上に新たな MLD クエリアを確認したため，MLD クエリアを <ipv6 address> に変更しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID <ipv6 address>　IPv6 アドレス [対応] なし。				
30	E3	VLAN	21200003	0700	**MLD snooping: IPv6 address not defined on VLAN <vlan id>, MLD querier function stopped.**
	VLAN <vlan id> 上の MLD クエリアは IPv6 アドレスが設定されていないため停止しています。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID [対応] 1. 該当 VLAN に IPv6 アドレスを設定してください。 2. show mld-snooping コマンドを使用し，該当 VLAN に設定した IPv6 アドレスが表示されるか確認ください。				
31	E3	VLAN	21200004	0700	**MLD snooping:The number of the MLD snooping entry exceeded the capacity of this system.**
	MLD snooping で使用している学習エントリ数が装置の収容条件（最大 500）を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 収容条件を超えているので，エントリ数を削減できるようシステム構成や設定を見直してください。				
32	E3	VLAN	2510001b	0700	**Sum of number of VLAN on ports exceeded capacity.**
	ポートごとの VLAN 数の合計が装置の収容条件を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 次に示す処置のどれかを行ってください。 • ポートごとの VLAN 数の合計が収容条件内のコンフィグレーションファイルを copy コマンドで running-config ファイルに反映してください。 • ポートごとの VLAN 数の合計を収容条件内に変更し，restart vlan コマンドを実行してください。 • ポートごとの VLAN 数の合計を収容条件内に変更し，装置を再起動してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
33	E4	VLAN	20110008	0700	**STP(<mode>): Port status becomes Forwarding on the port(<nif no.>/<port no.>).**
	ポートがフォワーディング状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。				
34	E4	VLAN	20110009	0700	**STP(<mode>): Port status becomes Blocking on the port(<nif no.>/<port no.>).**
	ポートがブロッキング状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。				
35	E4	VLAN	20110010	0700	**STP(<mode>): Port status becomes Down- BPDU received on the BPDU GUARD port(<nif no.>/<port no.>).**
	BPDU ガード機能を設定しているポートで BPDU を受信したため，ポートを DOWN させました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • MST マルチプルスパニングツリー <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
36	E4	VLAN	20110015	0700	**STP (<mode>) : Port status becomes Forwarding on the port(ChGr:<channel group number>).**
	ポートがフォワーディング状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
37	E4	VLAN	20110016	0700	**STP (<mode>) : Port status becomes Blocking on the port(ChGr:<channel group number>).**
	ポートがブロッキング状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
38	E4	VLAN	20110017	0700	**STP (<mode>) : Port status becomes Down- BPDU received on the BPDU GUARD port(ChGr:<channel group number>).**
	BPDU ガード機能を設定しているポートで BPDU を受信したため，ポートを DOWN させました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • MST　マルチプルスパニングツリー <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
39	E4	VLAN	20110037	0700	**STP (<mode>) : Port status becomes Blocking on the port(<nif no.>/<port no.>), because IEEE802.1Q Tagged BPDU was received from the port which is not trunk port.**
	アクセスポート，プロトコルポート，MAC ポートのどれかを設定（Untagged フレームを使用）しているにも関わらず IEEE802.1Q Tag が付いた BPDU を受信したため，Blocking にします。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] 対向装置の設定を確認してください。				
40	E4	VLAN	20110038	0700	**STP (<mode>) : Port status becomes Blocking on the port(ChGr:<channel group number>), because IEEE802.1Q Tagged BPDU was received from the port which is not trunk port.**
	アクセスポート，プロトコルポート，MAC ポートのどれかを設定（Untagged フレームを使用）しているにも関わらず IEEE802.1Q Tag が付いた BPDU を受信したため，Blocking にします。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 対向装置の設定を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
41	E4	VLAN	20110039	0700	**STP : Exceeded the number of the maximum spanning tree.**
	スパニングツリーで収容できるツリー数を超えました。今後はツリーの追加ができません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ネットワーク構成を見直すか，シングルスパニングツリーまたはマルチプルスパニングツリーを使用してください。				
42	E4	VLAN	20110040	0700	**STP(<mode>): Port status becomes Blocking - BPDU that priority is high was received on the ROOT GUARD port(<nif no.>/<port no.>).**
	ルートガード機能を設定しているポートで優先度の高い BPDU を受信したため，Blocking にします。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] 対向装置の設定を確認してください。				
43	E4	VLAN	20110041	0700	**STP(<mode>): Port status becomes Blocking - BPDU that priority is high was received on the ROOT GUARD port(ChGr:<channel group number>).**
	ルートガード機能を設定しているポートで優先度の高い BPDU を受信したため，Blocking にします。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] 対向装置の設定を確認してください。				
44	E4	VLAN	20110047	0700	**STP (<mode>) : Port status becomes Forwarding on the port(VLID:<link id>).**
	ポートがフォワーディング状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <link id> 仮想リンク ID [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
45	E4	VLAN	20110048	0700	**STP (<mode>) : Port status becomes Blocking on the port(VLID:<link id>).**
	ポートがブロッキング状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <link id>　仮想リンク ID [対応] なし。				
46	E4	VLAN	21100005	0700	**The IGMP snooping entry can't be registered at hardware tables(VLAN:<vlan id> MAC address:<mac address>).**
	IGMP snooping エントリがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID <mac address>　MAC アドレス [対応] システム構成を見直してください。 ただし，ハードウェアの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。				
47	E4	VLAN	21200005	0700	**The MLD snooping entry can't be registered at hardware tables(VLAN:<vlan id> MAC address:<mac address>).**
	MLD snooping エントリがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID <mac address>　MAC アドレス [対応] システム構成を見直してください。 ただし，ハードウェアの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。				
48	E4	VLAN	25100001	0700	**VLAN (<vlan id>) Status is Up.**
	VLAN 状態が UP 状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID [対応] なし。				
49	E4	VLAN	25100002	0700	**VLAN (<vlan id>) Status is Down.**
	VLAN 状態が DOWN 状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID [対応] VLAN に属している各回線の状態を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
50	E4	VLAN	25100005	0700	**The mac-address-table static entry can't be registered at hardware tables(VLAN:<vlan id> MAC address:<mac address>).**
	mac-address-table static コンフィグレーションによるエントリがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id> VLAN ID <mac address> MAC アドレス [対応] システム構成を見直してください。 ただし，ハードウェアの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。				
51	E4	VLAN	25100006	0700	**The VLAN MAC Address entry can't be registered at hardware tables(VLAN:<vlan id> MAC address:<mac address>).**
	VLAN MAC アドレスエントリがハードウェアに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id> VLAN ID <mac address> MAC アドレス [対応] システム構成を見直してください。 ただし，ハードウェアの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。				
52	E4	VLAN	25100007	0700	**Protocol based VLAN (<vlan id>) registration failed on the port(<nif no.>/<port no.>).**
	プロトコル VLAN を設定できませんでした。ポートに設定済みのプロトコルを指定しているほかの VLAN を重複して設定しようとしています。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id> VLAN ID <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] システム構成を見直してください。				
53	E4	VLAN	25100008	0700	**VLAN (<vlan id>) vlan-mac registration failed.**
	vlan-mac の設定に失敗しました。vlan-mac に設定できる VLAN 数が収容条件を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id> VLAN ID [対応] システム構成を見直してください。				
54	E4	VLAN	25100021	0700	**The vlan-protocol <protocol name> registration failed on the VLAN <vlan id>.**
	プロトコル VLAN へのプロトコルの設定が失敗しました。ポートに設定済みのプロトコルを重複して設定しようとしています。 [メッセージテキストの表示説明] <protocol name> 追加しようとしたプロトコル名称 <vlan id> VLAN ID [対応] システム構成を見直してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
55	E4	VLAN	25100022	0700	**Protocol <frame type> registration failed on the vlan-protocol <protocol name>.**
	VLAN プロトコル用のプロトコル値の設定が失敗しました。ポートに設定済みのプロトコルを重複して設定しようとしています。 [メッセージテキストの表示説明] <frame type>　追加しようとしたプロトコルのフレーム種別 • ethertype <hex>　EthernetV2 形式フレームの EtherType 値 • llc <hex>　802.3 形式フレームの LLC 値（DSAP，SSAP） • snap-ethertype <hex>　802.3 形式フレームの EtherType 値 <protocol name>　プロトコル名称 [対応] システム構成を見直してください。				

2.3.3 イベント発生部位＝ VLAN（Ring Protocol）

イベント発生部位 =VLAN（Ring Protocol）の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 2-5　イベント発生部位 =VLAN（Ring Protocol）の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	VLAN	20170001	0700	**AXRP <ring id> : activated state monitoring.**
	Ring Protocol の状態監視を開始しました。このメッセージは，Ring Protocol の初期化が完了した場合，および Ring Protocol のコンフィグレーションの動作モードをマスタモードに設定した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id>　リング ID [対応] なし。				
2	E3	VLAN	20170002	0700	**AXRP <ring id> : detected fault recovery by receiving health check frames.**
	Ring Protocol の状態監視で障害復旧を検出しました。このメッセージは，マスタノードでヘルスチェックフレームを受信し，障害復旧を検出した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id>　リング ID [対応] なし。				
3	E3	VLAN	20170003	0700	**AXRP <ring id> : cleared MAC address table by receiving flush request frames.**
	フラッシュ制御フレームを受信し，MAC アドレステーブルをクリアしました。このメッセージは，出力先がリングポートである MAC アドレステーブルをクリアした場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id>　リング ID [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
4	E3	VLAN	20170005	0700	**AXRP <ring id>：cleared MAC address table by timeout of forwarding-shift-timer.**
	forwarding-shift-time のタイムアウトによって，MAC アドレステーブルをクリアしました。このメッセージは，トランジットノードで forwarding-shift-time によってタイムアウトを検出し，MAC アドレステーブルをクリアした場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id>　リング ID [対応] なし。				
5	E3	VLAN	20170014	0700	**AXRP(virtual-link <link id>)：cleared MAC address table by receiving flush frames.**
	Ring Protocol で仮想リンクのフラッシュ制御フレームを受信し，MAC アドレステーブルエントリをクリアしました。このメッセージは，すべてのリングポートで学習している MAC アドレステーブルエントリをクリアします。 [メッセージテキストの表示説明] <link id>　仮想リンク ID [対応] なし。				
6	E3	VLAN	20170016	0700	**AXRP <ring id>：detected fault recovery by receiving health check frames, but suspended the fault recovery process.**
	Ring Protocol の状態監視で障害復旧を検出しましたが，設定によって経路の切り戻しが抑止されました。このメッセージは，マスタノードで障害復旧を検出した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id>　リング ID [対応] コンフィグレーションコマンド preempt-delay で指定した抑止時間のタイムアウトを待つか，clear axrp preempt-delay コマンドで手動で経路切り戻し抑止状態を解除してください。				
7	E3	VLAN	20170017	0700	**AXRP <ring id>：canceled the suspension of the fault recovery process.**
	Ring Protocol の経路切り戻し抑止状態の解除が実行されました。このメッセージは，マスタノードで経路切り戻し抑止中に経路切り戻し抑止状態が解除された場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id>　リング ID [対応] なし。				
8	E3	VLAN	20170018	0700	**AXRP <ring id>：activated multi fault state monitoring.**
	Ring Protocol の多重障害監視を開始しました。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id>　リング ID [対応] なし。				
9	E3	VLAN	20170019	0700	**AXRP <ring id>：detected multi fault recovery by receiving multi fault detection frames.**
	Ring Protocol の多重障害監視で多重障害の復旧を検出しました。このメッセージは，共有ノードで多重障害監視フレームを受信して多重障害の復旧を検出した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id>　リング ID [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
10	E3	VLAN	20170021	0700	**AXRP (multi-fault-detection <ring id>) : cleared MAC address table by receiving flush frames.**
	多重障害用のフラッシュ制御フレームを受信し，MAC アドレステーブルをクリアしました。このメッセージは，多重障害監視を適用しているリング ID に対応したリングポートの MAC アドレステーブルをクリアした場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id>　リング ID [対応] なし。				
11	E4	VLAN	20170004	0700	**AXRP <ring id> : detected fault by health check timeout.**
	Ring Protocol の状態監視で障害を検出しました。このメッセージは，マスタノードでヘルスチェックタイムアウトを検出した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id>　リング ID [対応] 該当リング内のリンクまたはノードに障害が発生している可能性があります。リンクおよびノードの状態を確認してください。				
12	E4	VLAN	20170020	0700	**AXRP <ring id> : detected multi fault by multi fault detection timeout.**
	Ring Protocol の多重障害監視で多重障害を検出しました。このメッセージは，共有ノードで多重障害監視機能がタイムアウトを検出した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id>　リング ID [対応] 該当リング内で多重障害が発生している可能性があります。リンクおよびノードの状態を確認してください。				

2.3.4 イベント発生部位＝ VLAN（GSRP）

イベント発生部位 =VLAN（GSRP）の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 2-6　イベント発生部位 =VLAN（GSRP）の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	VLAN	20130002	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned to Backup.**
	GSRP の状態がバックアップへ遷移しました。このメッセージは，GSRP の初期化が完了した場合，GSRP のコンフィグレーションの backup-lock を削除した場合または GSRP 装置が対向装置を認識していない状態で Master 状態の時に restart vlan コマンドを実行した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
2	E3	VLAN	20130003	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned to Master, because the number of active ports was more than neighbor's.**
	自装置のアクティブポート数が隣接の GSRP スイッチより多かったため，GSRP の状態がマスタへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				
3	E3	VLAN	20130004	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned to Master, because the priority was higher than neighbor's.**
	自装置のプライオリティが隣接の GSRP スイッチより高かったため，GSRP の状態がマスタへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				
4	E3	VLAN	20130005	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned to Master, because the MAC address was larger than neighbor's.**
	自装置の MAC アドレスが隣接の GSRP スイッチより大きかったため，GSRP の状態がマスタへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				
5	E3	VLAN	20130008	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned from Master to Backup, because the number of active ports was less than neighbor's.**
	自装置のアクティブポート数が隣接の GSRP スイッチより少なかったため，GSRP の状態がマスタからバックアップへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				
6	E3	VLAN	20130009	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned from Master to Backup, because the priority was lower than neighbor's.**
	自装置のプライオリティが隣接の GSRP スイッチより低かったため，GSRP の状態がマスタからバックアップへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
7	E3	VLAN	20130010	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned from Master to Backup, because the MAC address was smaller than neighbor's.**
	自装置の MAC アドレスが隣接の GSRP スイッチより小さかったため，GSRP の状態がマスタからバックアップへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				
8	E3	VLAN	20130013	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : advertise timeout detected on Master.**
	GSRP Advertise フレームの受信タイムアウトを検出しました。このメッセージは GSRP の状態がマスタの場合だけ出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] ダイレクトリンクのポートが正しく実装されており，動作していることを確認してください。また，現在の GSRP の状態をコンフィグレーション，および運用コマンドで確認してください。				
9	E3	VLAN	20130015	0700	**GSRP aware : MAC Address Table entry cleared, because GSRP flush request received on port <port list>, GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> Source MAC address <mac address>.**
	GSRP flush request フレームを受信し，MAC Address Table をクリアしました。 [メッセージテキストの表示説明] <port list>　ポート番号の範囲 <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID <mac address>　MAC アドレス [対応] なし。				
10	E3	VLAN	20130017	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> VLAN id <vlan id> : removed from vlan-group, because configuration is a disagreement, Ring protocol and GSRP.**
	Ring Protocol との併用時に，Ring Protocol と GSRP の構成不一致によって，該当 VLAN が vlan-group の対象外になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID <vlan id>　VLAN ID [対応] Ring Protocol の vlan-mapping と GSRP の vlan-group の内容が一致するように構成を変更してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
11	E4	VLAN	20130006	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id>: state transitioned to Master, because "set gsrp master" command was executed.**
	set gsrp master コマンドの実行により，GSRP の状態がマスタへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				
12	E4	VLAN	20130007	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id>: state transitioned to Master, because the direct link failure was detected.**
	ダイレクトリンク障害を検出したため，GSRP の状態がマスタへ遷移しました。このメッセージは GSRP のコンフィグレーションコマンド no-neighbor-to-master に direct-down パラメータを設定していた場合に，GSRP の状態がバックアップ（隣接不明）のときにダイレクトリンクのダウンを検出したことにより，マスタへ遷移する際出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				
13	E4	VLAN	20130011	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id>: state transitioned to Backup(No Neighbor).**
	GSRP の状態がバックアップ（隣接不明）へ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] ダイレクトリンクのポートが正しく実装されており，動作していることを確認してください。また，現在の GSRP の状態をコンフィグレーション，および運用コマンドで確認してください。				
14	E4	VLAN	20130012	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id>: state transitioned from Backup(No Neighbor) to Backup.**
	GSRP の状態がバックアップ（隣接不明）からバックアップへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				
15	E4	VLAN	20130014	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id>: advertise timeout detected on Backup(Lock).**
	GSRP Advertise フレームの受信タイムアウトを検出しました。このメッセージは GSRP の状態がバックアップ（ロック）の場合だけ出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] ダイレクトリンクのポートが正しく実装されており，動作していることを確認してください。また，現在の GSRP の状態をコンフィグレーション，および運用コマンドで確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
16	E4	VLAN	20130016	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned from Master to Backup, because the double Master detected.**
	自装置，および隣接装置の GSRP の状態が共にマスタであることを検出したため，マスタからバックアップへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] ダイレクトリンクのポートが正しく動作しているか確認してください。また，現在の GSRP の状態をコンフィグレーション，および運用コマンドで確認してください。				
17	E4	VLAN	20130018	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned to Master, because forced shift time was expired.**
	自動マスタ遷移待ち時間の設定時間を経過したことによって，GSRP の状態がマスタへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				

2.3.5 イベント発生部位＝ VLAN（L2 ループ検知）

イベント発生部位 =VLAN（L2 ループ検知）の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 2-7　イベント発生部位 =VLAN（L2 ループ検知）の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E4	VLAN	20800001	0700	**L2LD : Port(<nif no.>/<port no.>) inactivated because of loop detection from port(<nif no.>/<port no.>).**
	ループ障害を検出したため，ポートを閉塞しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。				
2	E4	VLAN	20800002	0700	**L2LD : Port(<nif no.>/<port no.>) inactivated because of loop detection from ChGr(<channel group number>).**
	ループ障害を検出したため，ポートを閉塞しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
3	E4	VLAN	20800003	0700	**L2LD : ChGr(<channel group number>) inactivated because of loop detection from port(<nif no.>/<port no.>).**
	ループ障害を検出したため，ポートを閉塞しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。				
4	E4	VLAN	20800004	0700	**L2LD : ChGr(<channel group number>) inactivated because of loop detection from ChGr(<channel group number>).**
	ループ障害を検出したため，ポートを閉塞しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。				
5	E4	VLAN	20800005	0700	**L2LD : Port(<nif no.>/<port no.>) loop detection from port(<nif no.>/<port no.>).**
	ループ障害を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。				
6	E4	VLAN	20800006	0700	**L2LD : Port(<nif no.>/<port no.>) loop detection from ChGr(<channel group number>).**
	ループ障害を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。				
7	E4	VLAN	20800007	0700	**L2LD : ChGr(<channel group number>) loop detection from port(<nif no.>/<port no.>).**
	ループ障害を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。				
8	E4	VLAN	20800008	0700	**L2LD : ChGr(<channel group number>) loop detection from ChGr(<channel group number>).**
	ループ障害を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
9	E4	VLAN	20800009	0700	**L2LD : Port(<nif no.>/<port no.>) activate by automatic restoration of the L2loop detection function.**
	L2 ループ検知機能の自動復旧によって，ポートの inactive 状態を解除します。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。				
10	E4	VLAN	20800010	0700	**L2LD : ChGr(<channel group number>) activate by automatic restoration of the L2loop detection function.**
	L2 ループ検知機能の自動復旧によって，ポートの inactive 状態を解除します。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
11	E4	VLAN	20800011	0700	**L2LD : L2loop detection frame cannot be sent in the port where capacity was exceeded.**
	L2 ループ検知フレームを送信できるポート数が収容条件を超えています。収容条件を超えたポートで L2 ループ検知フレームを送信できません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] L2 ループ検知フレームを送信するポート数を減らしてください。				

2.3.6 イベント発生部位＝ VLAN（CFM）

イベント発生部位 =VLAN（CFM）の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 2-8　イベント発生部位 =VLAN（CFM）の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E4	VLAN	20900003	0700	**MD Level <level> MA <no.>: detected on fault of OtherCCM in MEP <mepid>.**
	該当 MEP で障害（OtherCCM）を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <level>　ドメインレベル <no.>　MA 識別番号 <mepid>　MEP ID [対応] 対向装置を同一 MA として認識していません。 ドメインレベル，MA 識別番号，ドメイン名称，MA 名称が対向装置と一致しているか確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
2	E4	VLAN	20900004	0700	**MD Level <level> MA <no.>: detected on fault of ErrorCCM in MEP <mepid>.**
	該当 MEP で障害（ErrorCCM）を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <level>　ドメインレベル <no.>　MA 識別番号 <mepid>　MEP ID [対応] 対向装置と構成が一致していません。 MEP ID が対向装置と異なっているか，送信間隔（interval）が対向装置と一致しているか確認してください。				
3	E4	VLAN	20900005	0700	**MD Level <level> MA <no.>: detected on fault of Timeout in MEP <mepid>.**
	該当 MEP で障害（Timeout）を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <level>　ドメインレベル <no.>　MA 識別番号 <mepid>　MEP ID [対応] 対向装置から CCM を受信していません。 ネットワークの状態を確認してください。				
4	E4	VLAN	20900006	0700	**MD Level <level> MA <no.>: detected on fault of PortState in MEP <mepid>.**
	該当 MEP で障害（PortState）を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <level>　ドメインレベル <no.>　MA 識別番号 <mepid>　MEP ID [対応] 対向装置の回線障害またはポートのブロッキング状態を検出しました。 対向装置の状態を確認してください。				
5	E4	VLAN	20900007	0700	**MD Level <level> MA <no.>: detected on fault of RDI in MEP <mepid>.**
	該当 MEP で障害（RDI）を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <level>　ドメインレベル <no.>　MA 識別番号 <mepid>　MEP ID [対応] 対向装置で障害を検出しています。 対向装置の状態を確認してください。				
6	E4	VLAN	20900008	0700	**Exceeded the number of the maximum port.**
	MEP と MIP を設定できるポート数を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 設定数を確認してください。				

2.3.7 イベント発生部位＝ MAC

イベント発生部位 =MAC の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 2-9 イベント発生部位 =MAC の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	MAC	20120005	0800	**Channel Group(<channel group number>) disabled administratively.**
	コンフィグレーションによってチャネルグループは運用停止に指定されました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
2	E3	MAC	20120006	0800	**Channel Group(<channel group number>) enabled administratively.**
	コンフィグレーションによってチャネルグループは運用停止を解除しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
3	E3	MAC	20120007	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Different Partner System ID is detected.**
	LACP モードのリンクアグリゲーションにおいて相手装置の System ID がポート間で一致しなかったためチャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 以下を確認してください。 1. 相手装置と正しく接続しているか 2. 相手装置の System ID 設定は正しいか				
4	E3	MAC	20120008	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Different Partner Key is detected.**
	LACP モードのリンクアグリゲーションにおいて相手装置の Key がポート間で一致しなかったためチャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 以下を確認してください。 1. 相手装置と正しく接続しているか 2. 相手装置の Key 設定は正しいか				
5	E3	MAC	20120009	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) removed from Channel Group(<channel group number>).**
	コンフィグレーションのリンク削除によりチャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
6	E3	MAC	20120010	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Port down.**
	回線が DOWN 状態になりチャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
7	E3	MAC	20120011	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Different Port data rate .**
	速度の異なる回線がチャネルグループ内に存在し，速度の遅い回線をチャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 離脱された回線に関し，本装置および相手装置の設定状態を確認してください。				
8	E3	MAC	20120012	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Half-duplex port.**
	半二重で動作中の回線をチャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 離脱された回線に関し，本装置および相手装置の設定状態を確認してください。				
9	E3	MAC	20120013	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Denied by the LACP partner.**
	LACP モードのリンクアグリゲーションにおいて，LACP により相手装置から接続拒否されチャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 相手装置の設定を確認してください。				
10	E3	MAC	20120014	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - LACPDU timeout.**
	LACP モードのリンクアグリゲーションにおいて，相手装置からの LACPDU を受信せずタイムアウトによりチャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 相手装置の設定，active 状態を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
11	E3	MAC	20120015	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Configuration is changed.**
	コンフィグレーション変更によりチャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
12	E3	MAC	20120016	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Port moved is detected.**
	チャネルグループ内でポートが移動したことにより，チャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
13	E3	MAC	20120017	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Partner Aggregation bit is FALSE.**
	LACP モードで相手装置のアグリゲーションビットが FALSE のため，チャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
14	E3	MAC	20120018	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Partner Port number is changed.**
	相手装置のポート番号が変更したため，チャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
15	E3	MAC	20120019	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Partner Port priority is changed.**
	相手装置のポート優先度値が変更したため，チャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
16	E3	MAC	20120020	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Operation of detach port limit.**
	離脱ポート制限により，チャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
17	E3	MAC	20120021	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) added to Channel Group(<channel group number>).**
	チャネルグループにポートが追加されました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
18	E3	MAC	20120022	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) attached to Channel Group(<channel group number>).**
	チャネルグループにポートが集約されました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
19	E3	MAC	20120023	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) attached to Channel Group(<channel group number>) - A standby port became active.**
	スタンバイリンクによる運転を開始しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
20	E3	MAC	20120024	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - This port became a standby port.**
	スタンバイリンクによる運転を停止しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
21	E4	MAC	20120002	0800	**Channel Group(<channel group number>) is Up.**
	チャネルグループが UP 状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
22	E4	MAC	20120003	0800	**Channel Group(<channel group number>) is Down - All port detached.**
	チャネルグループ内のすべてのポートが離脱されチャネルグループが DOWN 状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 相手装置との接続回線の状態に関し，以下を確認してください。 1. 回線が DOWN していないか 2. 回線が半二重になっていないか 3. 相手装置の LACP 設定および回線の状態は正常か				
23	E4	MAC	20120004	0800	**Channel Group(<channel group number>) is Down - The number of the detached port exceeded the configured number.**
	チャネルグループ内の離脱ポート数が設定された制限を超えてチャネルグループが DOWN 状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 相手装置との接続回線の状態に関し，以下を確認してください。 1. 回線が DOWN していないか 2. 回線が半二重になっていないか 3. 相手装置の LACP 設定および回線の状態は正常か				

2.4 装置の各部位

2.4.1 イベント発生部位＝ SOFTWARE

イベント発生部位 =SOFTWARE の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 2-10 イベント発生部位 =SOFTWARE の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	SOFTWARE	00003001	1000	**System restarted due to abort reset operation.**
	装置が再起動されました。要因は RESET スイッチ押下です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
2	E3	SOFTWARE	00003002	1000	**System restarted due to default reset operation.**
	装置が再起動されました。要因はデフォルトスイッチ押下です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
3	E3	SOFTWARE	00003003	1000	**System restarted due to fatal error detected by software.**
	致命的障害をソフトウェアが検出し装置を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドでログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。				
4	E3	SOFTWARE	00003004	1000	**System restarted due to user operation.**
	装置が再起動されました。要因は reload コマンドです。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
5	E3	SOFTWARE	00003005	1000	**System restarted due to fatal error detected by kernel.**
	致命的障害をカーネルが検出し装置を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドでログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
6	E3	SOFTWARE	00003006	1000	**System restarted due to WDT timeout.**
	装置が再起動されました。要因はWDT（ウォッチドッグタイマ）タイムアウトです。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show loggingコマンドでログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。				
7	E3	SOFTWARE	00003007	1000	**System restarted due to hardware error detected by kernel.**
	装置が再起動されました。要因はハードウェア障害です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 装置を交換してください。				
8	E3	SOFTWARE	00003008	1000	**System restarted due to hardware error detected.**
	装置が再起動されました。要因はハードウェア障害です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 装置を交換してください。				
9	E3	SOFTWARE	00003301	1000	**CPU congestion detected.**
	CPUで処理するパケットの輻輳を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 本メッセージに同期して，ほかの障害およびイベントを示すメッセージ（レイヤ2プロトコルに関する障害およびイベントを示すメッセージなど）が発生している場合は，そのメッセージに対応した処置を行ってください。 2. ping，telnetなどの自装置宛てパケットやブロードキャスト，マルチキャストパケットを大量に受信した場合，本メッセージが出力されることがあります。なお，ブロードキャスト，マルチキャストパケットについては，ハードウェアで中継しつつCPUでも処理されます。 3. ネットワーク管理装置からのアクセスが多い場合，必要最小限のアクセス以外は抑止してください。 4. 上記3で回復しない場合，マニュアル「トラブルシューティングガイド」のCPUで処理するパケットの輻輳が回復しない場合の記述を参照して対応してください。				
10	E3	SOFTWARE	00003302	1000	**CPU has recovered from congestion.**
	CPUが輻輳から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
11	E3	SOFTWARE	00003303	1000	**Received many packets and loaded into the queue to CPU.**
	CPUへのキューに多数の受信パケットが積まれました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。ただし，本メッセージが頻発して出力される場合は，以下を確認してください。 1. ping，telnetなどの自装置宛てパケットやブロードキャスト，マルチキャストパケットを大量に受信していないか確認してください。ネットワーク管理装置からのアクセスが多い場合，必要最小限のアクセス以外は抑止してください。 2. ネットワーク構成が複雑すぎる可能性があります。ネットワーク構成を見直してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
12	E3	SOFTWARE	00003304	1000	**Processed the packets in the queue to CPU.**
	CPU へのキューに積まれたパケットは処理されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
13	E3	SOFTWARE	00008601	1001	**NTP lost synchronization with <ip address>.**
	NTP サーバ <ip address> との同期状態が失われました。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address>　NTP サーバの IPv4 アドレス [対応] show ntp associations コマンドで NTP の状態を確認してください。 同期が取れていない状態が継続するようであれば，NTP コンフィグレーションと NTP サーバの動作状況，通信可否を確認してください。				
14	E3	SOFTWARE	00008602	1001	**NTP detected an invalid packet from <ip address>.**
	NTP サーバ <ip address> からの不正なパケットを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address>　NTP サーバの IPv4 アドレス [対応] NTP サーバを確認してください。				
15	E3	SOFTWARE	00008603	1001	**NTP could not find the server which synchronize with.**
	同期できる NTP サーバがありません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NTP コンフィグレーションと NTP サーバの動作状況，通信可否を確認してください。				
16	E3	SOFTWARE	01200187	1001	**The temperature logging file can't be written.**
	温度ロギング情報の書き込みに失敗しました。 [対応] 1. 内蔵フラッシュメモリのユーザ領域を確認してください。 2. 空き領域が不足している場合は，不要なファイルを削除して空き領域（約 8kB）を確保してください。				
17	E3	SOFTWARE	01700501	1001	**Statistics table initialized.**
	装置の時刻が変更されたため，CPU 使用率を保持している統計情報テーブルを初期化しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
18	E3	SOFTWARE	01700502	1001	**CPU overloaded. There is the possibility of failure in responding to user command input or sending notification to SNMP agent.**
	ユーザコマンド入力に対する応答か，SNMP エージェントに対する通知が失敗したかもしれません。CPU が過負荷状態である可能性があります。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 必要なら再度コマンドの入力または MIB の取得を行ってください。				
19	E3	SOFTWARE	01700503	1001	**There is the possibility of software failure in responding to user command input or sending notification to SNMP agent.**
	ユーザコマンド入力に対する応答か，SNMP エージェントに対する通知が失敗したかもしれません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 必要なら再度コマンドの入力または MIB の取得を行ってください。				
20	E3	SOFTWARE	01900250	1001	**Software started up.**
	ソフトウェアの起動を開始しました。 本ログは UTC 時間で採取されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
21	E3	SOFTWARE	01910201	1001	**System started collecting new "error.log".**
	種別ログを新規に採取し始めました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
22	E3	SOFTWARE	01910202	1001	**System restarted by user operation.**
	ユーザ操作による装置再起動を行います。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
23	E3	SOFTWARE	01910203	1001	**System restarted after hardware reset.**
	リセットスイッチによる装置再起動を行います。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
24	E3	SOFTWARE	02002010	1001	**System failed switching to admin mode.**
	MIB Set 時の Admin mode への変更に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 他の管理者が admin になっています。show sessions コマンドで，ログインユーザおよび admin ユーザを確認してください。				
25	E3	SOFTWARE	02002012	1001	**Specified MIB doesn't exist, or it does not have read/write attribute.**
	設定した MIB は存在しないか，または，read/write 属性の MIB ではありません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 「MIB レファレンス」を参照し，設定した MIB が read/write 属性であることを確認してください。				
26	E3	SOFTWARE	02002013	1001	**Incorrect instance value specified.**
	MIB Set 時に設定したインスタンス値は，正しくありません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] インスタンス値を確認して設定してください。				
27	E3	SOFTWARE	02002014	1001	**MIB value specified was out of range.**
	MIB Set 時に MIB 値を，設定範囲外の値で設定しようとしています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] MIB 値の範囲については，「コンフィグレーションコマンドレファレンス　38. SNMP」を参照してください。				
28	E3	SOFTWARE	02002015	1001	**Data length of the MIB value was too long.**
	MIB Set 時に設定した MIB 値のデータ長が長過ぎます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] MIB 値として設定できる文字数は，「コンフィグレーションコマンドレファレンス　38. SNMP」を参照してください。				
29	E3	SOFTWARE	02002016	1001	**MIB Set failed due to the lack of necessary MIBs.**
	設定する上で必要な MIB が足りないために，MIB Set を行うことができませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 「MIB レファレンス」を参照し，設定時に必要な項目が満たされていることを確認してください。				
30	E3	SOFTWARE	02002017	1001	**Illegal character used in MIB setting.**
	設定できない文字を使用して，MIB Set を行おうとしています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 「コンフィグレーションコマンドレファレンス　1. このマニュアルの読み方」の文字コード一覧を確認して設定してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
31	E3	SOFTWARE	02002018	1001	**MIB Set failed to configured the configuration file because the preliminary configuration file is under editing.**
	バックアップコンフィグレーションファイルが編集中のため，スタートアップコンフィグレーションファイルに，MIB の Set を行うことができませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] バックアップコンフィグレーションファイルの編集を中止してください。				
32	E3	SOFTWARE	02002019	1001	**Failed in contact the configuration file while setting up MIB.**
	MIB 設定のための，スタートアップコンフィグレーションファイルへのアクセスに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] スタートアップコンフィグレーションファイルへのアクセスエラーになる要因を取り除いてから再度実行してください。				
33	E3	SOFTWARE	02002020	1001	**MIB value has failed to establish. Errors occurred in the "config" command.**
	MIB Set 時にコンフィグレーション編集時のエラーが発生したため，MIB を設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] コンフィグレーションのエラーについては，「コンフィグレーションコマンドレファレンス」の「コンフィグレーション編集時のエラーメッセージ」を参照して対応してください。				
34	E3	SOFTWARE	02002021	1001	**Not all MIB configured.**
	MIB Set に失敗したため，MIB 値は途中までしか設定されていません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 再度設定してください。また，それでもできない場合には，telnet などでログインし，MIB 値を設定してください。				
35	E3	SOFTWARE	02002023	1001	**System failed to save the configuration while processing MIB settings.**
	snmp マネージャからの MIB set 時に，コンフィグレーションの save 処理でエラーが発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] コンフィグレーションが save されていないので，telnet などで save してください。				
36	E3	SOFTWARE	02002024	1001	**<object name> set as <mib value> at the request of <ip address>.**
	<object name> は，<ip address> からの要求によって，<mib value> に設定されました。 [メッセージテキストの表示説明] <object name>　MIB オブジェクトのニーモニック <mib value>　MIB 値 <ip address>　SNMP マネージャの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
37	E3	SOFTWARE	02002025	1001	**SNMP: MAC address table entry cleared at the request of <ip address>.**
	SNMP マネージャ <ip address> からの MAC アドレステーブルクリア要求により MAC アドレステーブルをクリアしました。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address>　SNMP マネージャの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス [対応] なし。				
38	E3	SOFTWARE	0d10b002	1001	**The not used IP address which a dhcp_server can lease out is not a subnet <subnet address>.**
	dhcp_server が貸し出す未使用の IP アドレスが subnet <subnet address> にありません。 [メッセージテキストの表示説明] <subnet address>　割り当て範囲サブネットアドレス [対応] dhcp_server が割り当てることができる subnet のクライアントの最大数を調査してください。				
39	E3	SOFTWARE	0d10b003	1001	**The dhcp_server reused the abandoned IP address <ip address>.**
	dhcp_server は，廃棄された IP アドレスを再利用しました。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address>　割り当て IP アドレス [対応] なし。				
40	E3	SOFTWARE	0d10b004	1001	**The IP address <ip address> which the dhcp_server schedule to lease out is already used by others.**
	dhcp_server が貸し出そうとした IP アドレス <ip address> は，すでに他で使用されています。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address>　割り当て予定 IP アドレス [対応] 貸出し IP アドレスの範囲と固定割り当て IP アドレスが重複していないか調査してください。				
41	E3	SOFTWARE	0d10b0e4	1001	**dhcp_server: Invalid network address.**
	DHCP サーバが不正なコンフィグレーションを検出しました。無効なネットワークアドレスの指定です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 直前に入力した設定を削除してから，正しいネットワークアドレスを設定し直してください。				
42	E3	SOFTWARE	0d10b0ee	1001	**dhcp_server: Invalid IP address. (ip dhcp excluded-address ...)**
	DHCP サーバが不正なコンフィグレーションを検出しました。除外アドレス範囲の指定が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 直前に入力した設定を削除してから，正しい除外アドレス範囲を設定し直してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
43	E3	SOFTWARE	25090003	1001	**System changes to the schedule power control because it became schedule time.**
	スケジュール時間が開始し，スケジュール省電力が有効になりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
44	E3	SOFTWARE	25090004	1001	**System changes from the schedule power control because it ended schedule time.**
	スケジュール時間帯が終了し，スケジュール省電力が無効になりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
45	E3	SOFTWARE	25090005	1001	**The schedule power control is enable because it is schedule time.**
	スケジュール時間帯のため，スケジュール省電力が有効です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
46	E3	SOFTWARE	25090006	1001	**The schedule power control is disable because it is not schedule time.**
	通常時間帯のため，スケジュール省電力は無効です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
47	E3	SOFTWARE	3000b042	1001	**Discard of packets occurred by a reception rate limit of DHCP packets and ARP packets.**
	DHCP パケットと ARP パケットの受信レート制限によるパケット廃棄が発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
48	E3	SOFTWARE	3000b043	1001	**Failed in binding database generate by binding entry exceeded(<mac address>/<vlan id>/<ip address>).**
	データベースエントリ不足によってバインディングデータベース生成に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mac address>/<vlan id>/<ip address>　DHCP クライアント端末情報 • <mac address>　MAC アドレス • <vlan id>　VLAN ID • <ip address>　IP アドレス [対応] 装置の収容条件を超えました。システム構成を見直してください。また，スタティックエントリの追加によって本メッセージが表示された場合は該当するスタティックエントリを削除してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
49	E3	SOFTWARE	3000b044	1001	**The binding database can't be restored(<reason>).**
	バインディングデータベースを復元できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <reason> 失敗理由 • File is not found.（ファイルが見つかりません） • May be broken.（バインディングデータベースが壊れているおそれがあります） • The data is not saved.（復元できるデータがありません） [対応] バインディングデータベースの保存先を確認してください。				
50	E3	SOFTWARE	3000b045	1001	**The binding database can't be stored(<reason>).**
	バインディングデータベースを保存できません。 [メッセージテキストの表示説明] <reason> 失敗理由 • File is not writing.（ファイルに書き込みができません） [対応] バインディングデータベースの保存先を確認してください。				
51	E3	SOFTWARE	3000b046	1001	**The binding database was restored from <url>.**
	バインディングデータベースを復元しました。 [メッセージテキストの表示説明] <url> 読み込んだバインディングデータベース • previous process リスタート前のプロセス • flash 内蔵フラッシュメモリ • mc MC [対応] なし。				
52	E3	SOFTWARE	3000b047	1001	**Failed in source guard setting by DHCP snooping (<mac address>/<vlan id>/<ip address>/<nif no.>/<port no.>).**
	端末フィルタの設定に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mac address>/<vlan id>/<ip address>/<nif no.>/<port no.> 端末フィルタ設定情報 • <mac address> MAC アドレス • <vlan id> VLAN ID • <ip address> IP アドレス • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] 装置の収容条件を超えました。システム構成を見直してください。				
53	E4	SOFTWARE	20160002	1001	**The MAC-VLAN MAC Address entry can't be registered at hardware tables.**
	MAC VLAN のコンフィグレーションコマンドで設定した MAC アドレスがハードウェアに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 収容条件を見直してください。 ただし，ハードウェアの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
54	E4	SOFTWARE	20400003	1001	**The 802.1X Supplicant MAC address can't be registered at hardware tables.**
	IEEE802.1X で認証に成功した端末の MAC アドレスがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 収容条件を見直してください。 ただし，ハードウェアの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。				
55	E4	SOFTWARE	20400004	1001	**The 802.1X Supplicant MAC address of MAC VLAN can't be registered at hardware tables.**
	IEEE802.1X で MAC VLAN での認証に成功した端末の MAC アドレスがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 収容条件を見直してください。 ただし，ハードウェアの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。				
56	E4	SOFTWARE	20420002	1001	**The wad MAC Address entry can't be registered at hardware tables.**
	Web 認証機能で，端末の MAC アドレスがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 収容条件を見直してください。 ただし，ハードウェアの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。				
57	E4	SOFTWARE	20420003	1001	**The wad MAC Address entry failed in the deletion.**
	Web 認証機能で，登録した端末の MAC アドレスがハードウェアテーブルから削除されませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] L2MAC 管理プログラム（L2MacManager）を再起動してください。				
58	E4	SOFTWARE	20430002	1001	**The macauthd MAC address entry can't be registered at hardware tables.**
	MAC 認証で，端末の MAC アドレスがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 収容条件を見直してください。 ただし，ハードウェアの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。				
59	E4	SOFTWARE	20430003	1001	**The macauthd MAC address entry failed in the deletion.**
	MAC 認証で，登録した端末の MAC アドレスがハードウェアテーブルから削除されませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] L2MacManager を再起動してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
60	E4	SOFTWARE	27000013	0000	**System accounting failed (<number> times).**
	ログイン・ログアウト・コマンドのアカウンティングが失敗しました。 このメッセージは，アカウンティングが失敗した場合に，間隔をあけて出力されます。なお，1回でも成功した場合や，1時間失敗が起きなかった場合には，失敗回数はクリアされます。 [メッセージテキストの表示説明] <number>　連続して失敗した回数 [対応] 1. RADIUSサーバまたはTACACS+のコンフィグレーションが設定されているか確認してください。 2. RADIUSサーバまたはTACACS+サーバのIPアドレスに誤りがないかコンフィグレーションを確認してください。 3. RADIUSサーバまたはTACACS+サーバのポート番号に誤りがないかコンフィグレーションを確認してください。				
61	E7	SOFTWARE	00003101	1000	**Memory exhausted. Possibly too many users logged in, or too many sessions(via ftp,http,...) established.**
	CPUのメモリが不足しています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 多数のユーザがログインしている場合，必要最小限のユーザ以外はログアウトしてください。 2. ftpからの利用が多い場合，必要最小限のコネクション以外は切断してください。 3. ネットワーク管理装置からのアクセスが多い場合，必要最小限のアクセス以外は抑止してください。 4. 上記1，2，3で回復しない場合，本装置の収容条件を満たしていない可能性があります。「コンフィグレーションガイドVol.1　3.2 収容条件」を参照してネットワーク構成を見直してください。				
62	E7	SOFTWARE	01100001 01200001 01300001 01400001 01600001 01700001 01800001 01900001 01910001 03000001 04000001 05000001 06100001 06200001 06300001 06400001 06500001 07000001 08000001 09100001 09200001 09300001 09400001 09500001 09600001 09700001 09800001	1001	**Software failure occurred during operation.**

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
	運用中にソフトウェアに障害が発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 正常な運用ができない可能性があります。次に示す処置を行ってください。 1. show logging コマンドでログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。 2. reload コマンドで装置を再起動してください。 3. reload コマンドで再起動しても同一の障害が発生する場合は，装置を交換してください。				
63	E7	SOFTWARE	01100002 01200002 01300002 01400002 01600002 01700002 01800002 01900002 01910002 03000002 04000002 05000002 06100002 06200002 06300002 06400002 06500002 07000002 08000002 09100002 09200002 09300002 09400002 09500002 09600002	1001	**Software failure occurred during operation.**
	運用中にソフトウェアに障害が発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 正常な運用ができない可能性があります。次に示す処置を行ってください。 1. show logging コマンドでログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。 2. reload コマンドで装置を再起動してください。 3. reload コマンドで再起動しても同一の障害が発生する場合は，装置を交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
64	E7	SOFTWARE	01100004 01200004 01300004 01400004 01600004 01700004 01800004 01900004 01910004 03000004 04000004 05000004 06100004 06200004 06300004 06400004 06500004 07000004 08000004 09100004 09200004 09300004 09400004 09500004 09600004	1001	**Software failure occurred during operation.**
	運用中にソフトウェアに障害が発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 正常な運用ができない可能性があります。次に示す処置を行ってください。 1. show logging コマンドでログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。 2. reload コマンドで装置を再起動してください。 3. reload コマンドで再起動しても同一の障害が発生する場合は，装置を交換してください。				
65	E7	SOFTWARE	02002001	1001	**snmpd aborted.**
	SNMP エージェントプログラム（snmpd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] SNMP エージェントプログラムの障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル snmpd.core）およびログ情報，コンフィグレーションを収集してください。収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお，SNMP エージェントプログラムは自動的に再起動されます。SNMP エージェントプログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
66	E7	SOFTWARE	02002003	1001	**rmon aborted.**
	RMON プログラム（rmon）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] RMON の障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル rmon.core）およびログ情報，コンフィグレーションを収集してください。収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお，RMON プログラムは自動的に再起動されます。RMON プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
67	E7	SOFTWARE	0d10b001	1001	**dhcp_server aborted.**
	DHCP サーバプログラム（dhcp_server）を強制終了しました。DHCP サーバが，メモリ領域不足などの異常を検出したため，動作継続を断念し，強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] DHCP サーバプログラムは自動的に再起動します。DHCP サーバプログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置の再起動を行ってください。				
68	E7	SOFTWARE	1e001000	1001	**flowd aborted.**
	フロー統計エージェントプログラム（flowd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] フロー統計エージェントプログラムは自動的に再起動します。フロー統計エージェントプログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
69	E7	SOFTWARE	20110000	1001	**stpd aborted**
	スパニングツリープログラム（STPd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] スパニングツリープログラムの障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル stpd.core）およびログ情報，コンフィグレーションを収集してください。収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお，スパニングツリープログラムは自動的に再起動されます。スパニングツリープログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
70	E7	SOFTWARE	20120001	1001	**LAd aborted**
	リンクアグリゲーションプログラム（LAd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] リンクアグリゲーションプログラムの障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル LAd.core）およびログ情報，コンフィグレーションを収集してください。収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお，リンクアグリゲーションプログラムは自動的に再起動されます。リンクアグリゲーションプログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
71	E7	SOFTWARE	20130001	1001	**gsrpd aborted.**
	GSRP プログラム（gsrpd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] GSRP プログラムの障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル gsrpd.core）およびログ情報，コンフィグレーションを収集してください。収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお，GSRP プログラムは自動的に再起動されます。GSRP プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
72	E7	SOFTWARE	20140001	1001	**lldpd aborted.**
	LLDP プログラム（lldpd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] LLDP プログラムは自動的に再起動します。LLDP プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
73	E7	SOFTWARE	20150001	1001	**oadpd aborted.**
	OADP プログラム（oadpd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] OADP プログラムは自動的に再起動します。OADP プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
74	E7	SOFTWARE	20160001	1001	**L2MacManager aborted.**
	L2MAC 管理プログラム（L2MacManager）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] L2MAC 管理プログラムは自動的に再起動します。L2MAC 管理プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
75	E7	SOFTWARE	20170001	1001	**axrpd aborted.**
	Ring Protocol プログラム（axrpd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] Ring Protocol プログラムの障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル axrpd.core），ログ情報，およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお，Ring Protocol プログラムは自動的に再起動されます。Ring Protocol プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
76	E7	SOFTWARE	20400001	1001	**dot1xd aborted**
	IEEE802.1X プログラム（dot1xd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] IEEE802.1X プログラムは自動的に再起動します。IEEE802.1X プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
77	E7	SOFTWARE	20420001	1001	**wad aborted.**
	Web 認証プログラム（wad）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] Web 認証プログラムは自動的に再起動します。Web 認証プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
78	E7	SOFTWARE	20430001	1001	**macauthd aborted.**
	MAC 認証プログラムを強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] MAC 認証プログラムは自動的に再起動します。MAC 認証プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
79	E7	SOFTWARE	20700001	1001	**efmoamd aborted.**
	IEEE802.3ah/OAM プログラム（efmoamd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] IEEE802.3ah/OAM プログラムは自動的に再起動します。IEEE802.3ah/OAM プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
80	E7	SOFTWARE	20800001	1001	**l2ldd aborted.**
	L2 ループ検知プログラム（l2ldd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] L2 ループ検知プログラムは自動的に再起動します。L2 ループ検知プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
81	E7	SOFTWARE	20900001	1001	**cfmd aborted.**
	CFM プログラム（cfmd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] CFM プログラムの障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル cfmd.core）およびログ情報，コンフィグレーションを収集してください。 収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお，CFM プログラムは自動的に再起動します。CFM プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
82	E7	SOFTWARE	21000001	1001	**snoopd aborted.**
	IGMP snooping/MLD snooping プログラム（snoopd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] IGMP snooping/MLD snooping プログラムは自動的に再起動します。IGMP snooping/MLD snooping プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
83	E7	SOFTWARE	25300000	1001	**nimd aborted.**
	ネットワークインタフェース管理プログラム（nimd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ネットワークインタフェース管理プログラムは自動的に再起動します。ネットワークインタフェース管理プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
84	E7	SOFTWARE	27000001	0000	**accountingd aborted.**
	アカウンティングプログラム（accountingd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] アカウンティングプログラムの障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル acctd.core）およびログ情報，コンフィグレーションを収集してください。収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。なお，アカウンティングプログラムは自動的に再起動されます。アカウンティングプログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
85	E7	SOFTWARE	27000011	0000	**System accounting temporary stopped because accounting event congestion detected.**
	アカウンティングイベント送信が輻輳したため，ログイン・ログアウト・コマンドのアカウンティングを一時停止しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show accounting コマンドでエラーが発生している RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバがないかを確認してください。エラーが発生している RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバのコンフィグレーションの設定を確認してください。また，RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバ側の設定も正しいことを確認してください。 輻輳状態は次のどれかの契機で回復します。 1. RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバとの通信が復旧後，送信待ちアカウンティングイベント数が 256 まで減少したとき。 送信待ちアカウンティングイベント数は，show accounting コマンドの表示項目「InQueue」で確認できます。 2. restart accounting コマンド実行時。 3. 次に示すアカウンティング関連のコンフィグレーション変更時。 aaa accounting exec，aaa accounting commands，radius-server 関連コマンド，tacacs-server 関連コマンド，interface loopback モードの ip address				
86	E7	SOFTWARE	2a001000	1001	httpd aborted.
	HTTP プログラム（httpd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] プログラムは自動的に再起動されます。HTTP プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
87	E7	SOFTWARE	3000b041	1001	**dhcp_snoopingd aborted.**
	DHCP snooping プログラム（dhcp_snoopingd）を強制終了しました。 DHCP snooping が，メモリ領域不足などの異常を検出したため，動作継続を断念し，強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] DHCP snooping プログラムは自動的に再起動します。DHCP snooping プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
88	E9	SOFTWARE	01100003 01200003 01300003 01400003 01600003 01700003 01800003 01900003 01910003 03000003 04000003 05000003 06100003 06200003 06300003 06400003 06500003 07000003 08000003 09100003 09200003 09300003 09400003 09500003 09600003	1001	**System restarted due to software failure occurred during initialization.**
	初期化中にソフトウェアに障害が発生し，装置を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドでログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。				
89	E9	SOFTWARE	01100005 01200005 01300005 01400005 01600005 01700005 01800005 01900005 01910005 03000005 04000005 05000005 06100005 06200005 06300005 06400005 06500005 07000005 08000005 09100005 09200005 09300005 09400005 09500005 09600005 09700005 09800005	1001	**System restarted due to software failure occurred during operation.**

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
	運用中にソフトウェアに障害が発生し，装置を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドでログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。				
90	R7	SOFTWARE	00003101	1000	**Recovered from memory exhaustion.**
	CPU のメモリ不足が回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
91	R7	SOFTWARE	02002001	1001	**snmpd restarted.**
	SNMP エージェントプログラム（snmpd）を再起動しました。 このメッセージは，SNMP エージェントプログラムの強制終了から自動的に再起動した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] SNMP エージェントプログラムの障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル snmpd.core）およびログ情報，コンフィグレーションを収集してください。収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお，SNMP エージェントプログラムは自動的に再起動されます。SNMP エージェントプログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
92	R7	SOFTWARE	02002003	1001	**rmon restarted.**
	RMON プログラム（rmon）を再起動しました。 このメッセージは，RMON プログラムの強制終了から自動的に再起動した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] RMON の障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル rmon.core）およびログ情報，コンフィグレーションを収集してください。収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお，RMON プログラムは自動的に再起動されます。RMON プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
93	R7	SOFTWARE	0d10b001	1001	**dhcp_server restarted.**
	DHCP サーバプログラム（dhcp_server）を再起動しました。 このメッセージは DHCP サーバプログラムが自動的に再起動した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
94	R7	SOFTWARE	1e001000	1001	**flowd restarted.**
	フロー統計エージェントプログラム（flowd）を再起動しました。このメッセージはフロー統計エージェントプログラムが自動的に再起動した場合，または restart sflow コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
95	R7	SOFTWARE	20110001	1001	**stpd restarted**
	スパニングツリープログラム (stpd) を再起動しました。このメッセージは，スパニングツリープログラムが自動的に再起動した場合，または restart spanning-tree コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
96	R7	SOFTWARE	20120001	1001	**LAd restarted.**
	リンクアグリゲーションプログラム（LAd）を再起動しました。 このメッセージは，リンクアグリゲーションプログラムが自動的に再起動した場合，または restart link-aggregation コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
97	R7	SOFTWARE	20130002	1001	**gsrpd restarted.**
	GSRP プログラム（gsrpd）を再起動しました。 このメッセージは GSRP プログラムが自動的に再起動した場合，または restart gsrp コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
98	R7	SOFTWARE	20140001	1001	**lldpd restarted.**
	LLDP プログラム（lldpd）を再起動しました。 このメッセージは LLDP プログラムが自動的に再起動した場合，または restart lldp コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
99	R7	SOFTWARE	20150001	1001	**oadpd restarted.**
	OADP プログラム（oadpd）を再起動しました。 このメッセージは OADP プログラムが自動的に再起動した場合，または restart oadp コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
100	R7	SOFTWARE	20160001	1001	**L2MacManager restarted.**
	L2MAC 管理プログラム（L2MacManager）を再起動しました。 このメッセージは L2MAC 管理プログラムが自動的に再起動した場合，または restart vlan コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
101	R7	SOFTWARE	20170001	1001	**axrpd restarted.**
	Ring Protocol プログラム（axrpd）を再起動しました。このメッセージは Ring Protocol プログラムが自動的に再起動した場合，または restart axrp コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
102	R7	SOFTWARE	20400001	1001	**dot1xd restarted.**
	IEEE802.1X プログラム（dot1xd）を再起動しました。 このメッセージは IEEE802.1X プログラムが自動的に再起動した場合，または restart dot1x コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
103	R7	SOFTWARE	20420001	1001	**wad restarted.**
	Web 認証プログラム（wad）を再起動しました。 このメッセージは Web 認証プログラムが自動的に再起動した場合，または restart web-authentication コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 認証クライアント側で再度認証作業を行ってください。				
104	R7	SOFTWARE	20430001	1001	**macauthd restarted.**
	MAC 認証プログラムを再起動しました。 このメッセージは MAC 認証プログラムが自動的に再起動した場合，または restart mac-authentication コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 認証クライアント側で再度認証作業を行ってください。				
105	R7	SOFTWARE	20700001	1001	**efmoamd restarted.**
	IEEE802.3ah/OAM プログラム（efmoamd）を再起動しました。 このメッセージは IEEE802.3ah/OAM プログラムが自動的に再起動した場合，または restart efmoam コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
106	R7	SOFTWARE	20800001	1001	**l2ldd restarted.**
	L2 ループ検知プログラム（l2ldd）を再起動しました。 このメッセージは L2 ループ検知プログラムが自動的に再起動した場合，または restart loop-detection コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
107	R7	SOFTWARE	20900001	1001	**cfmd restarted.**
	CFM プログラム（cfmd）を再起動しました。 このメッセージは CFM プログラムが自動的に再起動した場合，または restart cfm コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
108	R7	SOFTWARE	21000001	1001	**snoopd restarted.**
	IGMP snooping/MLD snooping プログラム（snoopd）を再起動しました。 このメッセージは IGMP snooping/MLD snooping プログラムが自動的に再起動した場合，または restart snooping コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
109	R7	SOFTWARE	25300000	1001	**nimd restarted.**
	ネットワークインタフェース管理プログラム（nimd）を再起動しました。 このメッセージは，ネットワークインタフェース管理プログラムが自動的に再起動した場合，または restart vlan コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
110	R7	SOFTWARE	27000001	0000	**accountingd restarted.**
	アカウンティングプログラム（accountingd）を再起動しました。 このメッセージはアカウンティングプログラムが自動的に再起動した場合，または restart accounting コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
111	R7	SOFTWARE	27000011	0000	**System accounting recovered from congestion.**
	アカウンティングイベント送信が輻輳から回復したため，ログイン・ログアウト・コマンドのアカウンティングを再開しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
112	R7	SOFTWARE	2a001000	1001	**httpd restarted.**
	HTTP プログラム（httpd）を再起動しました。このメッセージは，HTTP プログラムが自動的に再起動した場合，または restart netconf コマンドによって HTTP プログラムと NETCONF プログラムの再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
113	R7	SOFTWARE	3000b041	1001	**dhcp_snoopingd restarted.**
	DHCP snooping プログラム（dhcp_snoopingd）を再起動しました。 このメッセージは DHCP snooping プログラムが自動的に再起動した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

2.4.2 イベント発生部位＝ SOFTWARE（認証 VLAN）【OP-VAA】

イベント発生部位 =SOFTWARE（認証 VLAN）の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 2-11 イベント発生部位 =SOFTWARE（認証 VLAN）の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	SOFTWARE	20410002	1001	**vaad connection closed <ipv4 address>.**
	VAA と認証サーバ <ipv4 address> とのコネクションが切断されました。 このメッセージは VAA と認証サーバ間の TCP コネクションが何らかの要因で切断された場合，または VAA を停止した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] <ipv4 address>　認証サーバの IPv4 アドレス [対応] VAA が起動状態の場合は，自動的に再接続します。				
2	E3	SOFTWARE	20410003	1001	**vaad connection was established <ipv4 address>.**
	VAA と認証サーバ <ipv4 address> とのコネクションが確立しました。 このメッセージは，VAA と認証サーバ間の TCP コネクションが確立された場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] <ipv4 address>　認証サーバの IPv4 アドレス [対応] なし。				
3	E3	SOFTWARE	20410004	1001	**vaad Server protocol version is not supported.**
	認証サーバのプロトコルバージョンが，VAA でサポートしているバージョンではありません。 このメッセージは，認証サーバのプロトコルバージョンが "1.0" 以外の場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 認証サーバのプロトコルバージョンを "1.0" に変更してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
4	E3	SOFTWARE	20410005	1001	**vaad Since L2MacManager restarted, all MAC was deleted.**
	L2MacManager が VAA とのソケットをクローズしたため，認証登録してあるすべての MAC アドレスを削除しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 認証クライアント側で再度認証作業を行ってください。				
5	E3	SOFTWARE	20410006	1001	**vaad all MAC address were cleared.**
	VAA と認証サーバ間のすべての TCP コネクションが，指定されたリトライ回数内で確立できなかったため，認証登録してあるすべての MAC アドレスを削除しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 本装置と認証サーバ間でネットワーク的に導通できるか確認してください。				
6	E3	SOFTWARE	20410007	1001	**vaad The socket with L2MacManager was closed.**
	VAA と L2MacManager 間のソケットをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] このエラーが頻発する場合は，L2MacManager を再起動してください。				
7	E3	SOFTWARE	20410012	1001	**VAA information defined by the configuration file is ignored, since VAA function license is not given.**
	スタートアップコンフィグレーションファイルで設定された VAA 情報はライセンスが与えられていないため無効となります。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] set license コマンドでオプションライセンス OP-VAA を設定し，装置を再起動してください。				
8	E4	SOFTWARE	20410008	1001	**The vaad MAC Address entry can't be registered at hardware tables.**
	VAA 機能で，端末の MAC アドレスがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 収容条件を見直してください。 ただし，ハードウェアの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。				
9	E4	SOFTWARE	20410009	1001	**vaad failed to get configuration data.**
	装置内部で VAA 機能のコンフィグレーションデータの取得を失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] VAA 機能のコンフィグレーションを削除し，VAA のコンフィグレーションを再設定してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
10	E4	SOFTWARE	20410010	1001	**vaad failed to make temporary file.**
	装置内部で VAA 機能のテンポラリファイルの作成を失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] VAA 機能のコンフィグレーションを削除し，VAA のコンフィグレーションを再設定してください。				
11	E4	SOFTWARE	20410011	1001	**vaad was not able to get enough memory.**
	装置のメモリ容量が足りないため，VAA のメモリ確保を失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] VAA 機能のコンフィグレーションを削除し，VAA のコンフィグレーションを再設定してください。				
12	E7	SOFTWARE	20410001	1001	**vaad aborted.**
	VAA プログラム（vaad）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] VAA プログラムは自動的に再起動します。VAA プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
13	R7	SOFTWARE	20410001	1001	**vaad restarted.**
	VAA プログラム（vaad）を再起動しました。 このメッセージは VAA プログラムが自動的に再起動した場合，または restart vaa コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 認証クライアント側で再度認証作業を行ってください。				

2.5 ポート

2.5.1 イベント発生部位＝ PORT

イベント発生部位 =PORT の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 2-12 イベント発生部位 =PORT の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	PORT	25011000	1350	**Port enabled administratively.**
	コンフィグレーションコマンド no shutdown，no schedule-power-control shutdown によって，ポートは disable 状態を解除されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
2	E3	PORT	25011006	1350	**Port activated administratively.**
	activate コマンドによって，ポートは inactive 状態を解除されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
3	E3	PORT	25011100	1350	**Port disabled administratively.**
	コンフィグレーションコマンド shutdown，schedule-power-control shutdown によって，ポートは disable 状態にされました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
4	E3	PORT	25011106	1350	**Port inactivated administratively.**
	inactivate コマンドによって，ポートは inactive 状態にされました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
5	E3	PORT	25230000	1350	**Unable to use traffic-shape rate feature because value exceeding setting range was specified.**
	設定範囲外の値が指定されたため，ポート帯域制御を使用できません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 設定範囲内の帯域に変更してください。設定範囲については，「コンフィグレーションコマンドレファレンス traffic-shape rate」の rate パラメータの説明を参照してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
6	E3	PORT	25230001	1350	**Unable to use traffic-shape rate feature because its setting unit was an unjust value.**
	設定単位が不当であったため，ポート帯域制御を使用できません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 指定可能な設定単位に変更してください。指定可能な設定単位については，「コンフィグレーションコマンドレファレンス　traffic-shape rate」の rate パラメータの説明を参照してください。				
7	E3	PORT	25230002	1350	**Port half duplex does not support traffic-shape rate feature.**
	半二重回線では，ポート帯域制御を使用できません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 次のどちらかを実施してください。 1. ポート帯域制御を使用する場合，全二重回線に変更してください。 2. 半二重回線で使用する場合，コンフィグレーションコマンド no traffic-shape rate でポート帯域制御を削除してください。				
8	E3	PORT	25230003	1350	**Unable to use WFQ feature because minimum rate exceeding setting range was specified for queue <queue no.>.**
	キュー番号 <queue no.> に指定した最低保障帯域が設定範囲外のため，WFQ を含むスケジューリングモードは使用できません。 [メッセージテキストの表示説明] <queue no.>　キュー番号 [対応] 設定範囲内の最低保障帯域に変更してください。設定範囲については，「コンフィグレーションコマンドレファレンス　qos-queue-list」の wfq パラメータの説明を参照してください。				
9	E3	PORT	25230004	1350	**Unable to use WFQ feature because unit of the minimum rate specified for queue <queue no.> was unjustified.**
	キュー番号 <queue no.> に指定した最低保障帯域の設定単位が不当であったため，WFQ を含むスケジューリングモードは使用できません。 [メッセージテキストの表示説明] <queue no.>　キュー番号 [対応] 指定可能な設定単位に変更してください。指定可能な設定単位については，「コンフィグレーションコマンドレファレンス　qos-queue-list」の wfq パラメータの説明を参照してください。				
10	E3	PORT	25230005	1350	**Unable to use WFQ feature because total value of minimum rate exceeding the maximum rate of the port.**
	最低保障帯域の合計値が回線の最大送出帯域を超えたため，WFQ を含むスケジューリングモードは使用できません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 最低保障帯域の合計値が最大送出帯域以内になるようにコンフィグレーションコマンド qos-queue-list で変更してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
11	E3	PORT	25230006	1350	**Port half duplex does not support WFQ feature.**
	半二重回線では，WFQ を含むスケジューリングモードは使用できません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 次のどちらかを実施してください。 1. スケジューリングモードで WFQ を使用する場合，全二重回線に変更してください。 2. 半二重回線で使用する場合，コンフィグレーションコマンドの qos-queue-group および qos-queue-list で，WFQ を含まないスケジューリングモードに変更してください。				
12	E3	PORT	25230007	1350	**Relations between traffic-shape rate and scheduling mode are inconsistent.**
	ポート帯域制御とスケジューリングモードの設定が不一致です。 ポート帯域制御を使用する場合，指定可能なスケジューリングモードは PQ です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 次のどちらかを実施してください。 1. ポート帯域制御を使用する場合，コンフィグレーションコマンドの qos-queue-group および qos-queue-list でスケジューリングモードを PQ にしてください。 2. PQ 以外のスケジューリングモードで使用する場合，コンフィグレーションコマンド no traffic-shape rate でポート帯域制御を削除してください。				
13	E4	PORT	25011001	1350	**Port up.**
	ポートが up しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
14	E4	PORT	25011002	1350	**Transceiver connected.**
	トランシーバの挿入を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
15	E4	PORT	25011101	1350	**Error detected on the port.**
	ポートで障害を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の場合 1. 指定のケーブルを正しく接続しているか確認してください。 2. 相手装置の立ち上げが完了しているか確認してください。 3. test interfaces コマンドを実行し，装置，ケーブルに問題がないことを確認してください。 1000BASE-X/10GBASE-R の場合 1. 指定のケーブルを正しく接続しているか確認してください。また，ケーブルの端面が汚れていないか確認してください。汚れている場合は，汚れをふき取ってください。 2. 光アッテネータ (光減衰器) を使用している場合，減衰値を確認してください。 3. 相手装置の立ち上げが完了しているか確認してください。 4. test interfaces コマンドを実行し，装置，ケーブルに問題がないことを確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
16	E4	PORT	25011102	1350	**Transceiver notconnected.**
	トランシーバの抜去を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] トランシーバを正しく挿入してください。				
17	E4	PORT	25011103	1350	**Auto negotiation failed.**
	オートネゴシエーションが失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] • オートネゴシエーションの設定を確認してください。 • test interfaces コマンドを実行し，ケーブルに問題がないことを確認してください。 • 装置またはケーブルが正常な場合，接続先の機器を確認してください。				
18	E4	PORT	25011104	1350	**Many failures occurred in receiving frames to the targeted port due to the port troubles. Execute the Line tests to check the port condition.**
	ノイズなどによるエラーのため，該当ポートでのフレーム受信失敗が多発しています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] • test interfaces コマンドを実行し，ケーブルに問題がないことを確認してください。 • 装置またはケーブルが正常な場合，接続先の機器を確認してください。				
19	E4	PORT	25011105	1350	**Many failures occurred in sending frames to the targeted port due to the port troubles. Execute the Line tests to check the port condition.**
	ノイズなどによるエラーのため，該当ポートでのフレーム送信失敗が多発しています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] • test interfaces コマンドを実行し，装置またはケーブルに障害がないことを確認してください。 • 装置またはケーブルが正常な場合，接続先の機器を確認してください。				
20	E4	PORT	25011500	1350	**Transceiver not supported.**
	未サポートのトランシーバを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. サポートしているトランシーバを挿入してください。 2. 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用 SFP を使用している場合，選択型ポートを使用していないことを確認してください。				
21	E4	PORT	25100009	1350	**NIF <nif no.> Port <port no.>:inactivated because of broadcast storm detection.**
	ブロードキャストストームを検出したため，ポートを inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 <port no.>　ポート番号 [対応] ストームから回復した後，activate コマンドでポートを active 状態にしてください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
22	E4	PORT	2510000a	1350	**NIF <nif no.> Port <port no.>:broadcast storm detected.**
	ブロードキャストストームを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] なし。				
23	E4	PORT	2510000b	1350	**NIF <nif no.> Port <port no.>:broadcast storm recovered.**
	ブロードキャストストームが回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] なし。				
24	E4	PORT	2510000c	1350	**NIF <nif no.> Port <port no.>:inactivated because of multicast storm detection.**
	マルチキャストストームを検出したため，ポートを inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] ストームから回復した後，activate コマンドでポートを active 状態にしてください。				
25	E4	PORT	2510000d	1350	**NIF <nif no.> Port <port no.>:multicast storm detected.**
	マルチキャストストームを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] なし。				
26	E4	PORT	2510000e	1350	**NIF <nif no.> Port <port no.>:multicast storm recovered.**
	マルチキャストストームが回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] なし。				
27	E4	PORT	2510000f	1350	**NIF <nif no.> Port <port no.>:inactivated because of unicast storm detection.**
	ユニキャストストームを検出したため，ポートを inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] ストームから回復した後，activate コマンドでポートを active 状態にしてください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
28	E4	PORT	25100010	1350	**NIF <nif no.> Port <port no.>:unicast storm detected.**
	ユニキャストストームを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] なし。				
29	E4	PORT	25100011	1350	**NIF <nif no.> Port <port no.>:unicast storm recovered.**
	ユニキャストストームが回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] なし。				
30	E4	PORT	25100012	1350	**NIF <nif no.> Port <port no.>:inactivated because of uni-directional link detection.**
	片方向リンク障害を検出したため，ポートを inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] • 接続先で IEEE802.3ah/OAM 機能が有効であることを確認してください。 • test interfaces コマンドを実行し，装置またはケーブルに障害がないことを確認してください。 • 装置またはケーブルが正常な場合，接続先の機器を確認してください。 その後，activate コマンドでポートを active 状態にしてください。				
31	E4	PORT	25100013	1350	**NIF <nif no.> Port <port no.>:inactivated because of loop detection.**
	ループを検出したため，ポートを inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。				
32	E8	PORT	25020201	1350	**Port restarted because of its hardware failure.**
	ポート部分にハードウェア障害が発生したので，ポート部分の再起動を行いました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復ログ，または障害回復失敗のログを確認してください。障害回復した場合は継続して運用可能です。失敗の場合は未使用のポートを使用してください。障害となったポートを再度使用する場合は，装置を交換してください。トランシーバを実装している場合は，トランシーバがしっかり実装されているか確認してください。				
33	E8	PORT	25020401	1350	**Port restarted, but not recovered from hardware failure.**
	ポート部分の再起動を行いましたが，ポート部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 未使用のポートを使用してください。障害となったポートを再度使用する場合は，装置を交換してください。トランシーバを実装している場合は，トランシーバがしっかり実装されているか確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
34	R8	PORT	25020201	1350	**Port recovered from hardware failure.**
	ポート部分のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

2.5.2 イベント発生部位＝ ULR

イベント発生部位 =ULR の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 2-13 イベント発生部位 =ULR の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E4	ULR	20a00001	2400	**ULR:Active port is switched to secondary port(<nif no.>/<port no.>) from primary port(<nif no.>/<port no.>).**
	プライマリポートに障害が発生したため，セカンダリポートに切り替えました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] プライマリポートの障害を確認してください。				
2	E4	ULR	20a00002	2400	**ULR:Active port is switched to primary port(<nif no.>/<port no.>) from secondary port(<nif no.>/<port no.>).**
	セカンダリポートに障害が発生したため，プライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] セカンダリポートの障害を確認してください。				
3	E4	ULR	20a00003	2400	**ULR:Active port is switched to secondary port(<nif no.>/<port no.>) from primary port(ChGr:<channel group number>).**
	プライマリポートに障害が発生したため，セカンダリポートに切り替えました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] プライマリポートの障害を確認してください。				
4	E4	ULR	20a00004	2400	**ULR:Active port is switched to primary port(<nif no.>/<port no.>) from secondary port(ChGr:<channel group number>).**
	セカンダリポートに障害が発生したため，プライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] セカンダリポートの障害を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
5	E4	ULR	20a00005	2400	**ULR:Active port is switched to secondary port(ChGr:<channel group number>) from primary port(<nif no.>/<port no.>).**
	プライマリポートに障害が発生したため，セカンダリポートに切り替えました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] プライマリポートの障害を確認してください。				
6	E4	ULR	20a00006	2400	**ULR:Active port is switched to primary port(ChGr:<channel group number>) from secondary port(<nif no.>/<port no.>).**
	セカンダリポートに障害が発生したため，プライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] セカンダリポートの障害を確認してください。				
7	E4	ULR	20a00007	2400	**ULR:Active port is switched to secondary port(ChGr:<channel group number>) from primary port(ChGr:<channel group number>).**
	プライマリポートに障害が発生したため，セカンダリポートに切り替えました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] プライマリポートの障害を確認してください。				
8	E4	ULR	20a00008	2400	**ULR:Active port is switched to primary port(ChGr:<channel group number>) from secondary port(ChGr:<channel group number>).**
	セカンダリポートに障害が発生したため，プライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] セカンダリポートの障害を確認してください。				
9	E4	ULR	20a00009	2400	**ULR:Active port is switched to secondary port(<nif no.>/<port no.>) from primary port(<nif no.>/<port no.>), because command execution.**
	set switchport-backup active コマンドの実行によってプライマリポートからセカンダリポートに切り替えました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。				
10	E4	ULR	20a00010	2400	**ULR:Active port is switched to primary port(<nif no.>/<port no.>) from secondary port(<nif no.>/<port no.>), because command execution.**
	set switchport-backup active コマンドの実行によってセカンダリポートからプライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
11	E4	ULR	20a00011	2400	**ULR:Active port is switched to secondary port(<nif no.>/<port no.>) from primary port(ChGr:<channel group number>), because command execution.**
	set switchport-backup active コマンドの実行によってプライマリポートからセカンダリポートに切り替えました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
12	E4	ULR	20a00012	2400	**ULR:Active port is switched to primary port(<nif no.>/<port no.>) from secondary port(ChGr:<channel group number>), because command execution.**
	set switchport-backup active コマンドの実行によってセカンダリポートからプライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
13	E4	ULR	20a00013	2400	**ULR:Active port is switched to secondary port(ChGr:<channel group number>) from primary port(<nif no.>/<port no.>), because command execution.**
	set switchport-backup active コマンドの実行によってプライマリポートからセカンダリポートに切り替えました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。				
14	E4	ULR	20a00014	2400	**ULR:Active port is switched to primary port(ChGr:<channel group number>) from secondary port(<nif no.>/<port no.>), because command execution.**
	set switchport-backup active コマンドの実行によってセカンダリポートからプライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。				
15	E4	ULR	20a00015	2400	**ULR:Active port is switched to secondary port(ChGr:<channel group number>) from primary port(ChGr:<channel group number>), because command execution.**
	set switchport-backup active コマンドの実行によってプライマリポートからセカンダリポートに切り替えました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
16	E4	ULR	20a00016	2400	**ULR:Active port is switched to primary ChGr(<channel group number>) from secondary ChGr(<channel group number>), because command execution.**
	set switchport-backup active コマンドの実行によってセカンダリポートからプライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
17	E4	ULR	20a00017	2400	**ULR:Primary port(<nif no.>/<port no.>) became the active port.**
	プライマリポートがアクティブポートになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。				
18	E4	ULR	20a00018	2400	**ULR:Primary port(ChGr:<channel group number>), became the active port.**
	プライマリポートがアクティブポートになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
19	E4	ULR	20a00019	2400	**ULR:Secondary port(<nif no.>/<port no.>) became the active port.**
	セカンダリポートがアクティブポートになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。				
20	E4	ULR	20a00020	2400	**ULR:Secondary port(ChGr:<channel group number>) became the active port.**
	セカンダリポートがアクティブポートになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
21	E4	ULR	20a00021	2400	**ULR:Both uplink redundant port(<nif no.>/<port no.>) and port(<nif no.>/port no.>) are down.**
	プライマリポートとセカンダリポートが両方ダウンしました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] プライマリポートとセカンダリポートで障害が発生していないか確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
22	E4	ULR	20a00022	2400	**ULR:Both uplink redundant port(<nif no.>/<port no.>) and port(ChGr:<channel group number>) are down.**
	プライマリポートとセカンダリポートが両方ダウンしました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] プライマリポートとセカンダリポートで障害が発生していないか確認してください。				
23	E4	ULR	20a00023	2400	**ULR:Both uplink redundant port(ChGr:<channel group number>) and port(<nif no.>/<port no.>) are down.**
	プライマリポートとセカンダリポートが両方ダウンしました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] プライマリポートとセカンダリポートで障害が発生していないか確認してください。				
24	E4	ULR	20a00024	2400	**ULR:Both uplink redundant port(ChGr:<channel group number>) and port(ChGr:<channel group number>) are down.**
	プライマリポートとセカンダリポートが両方ダウンしました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] プライマリポートとセカンダリポートで障害が発生していないか確認してください。				
25	E4	ULR	20a00025	2400	**ULR:Active port is switched to primary port(<nif no.>/<port no.>) from secondary port(<nif no.>/<port no.>), because preemption execution.**
	自動切り戻しの実行によってセカンダリポートからプライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。				
26	E4	ULR	20a00026	2400	**ULR:Active port is switched to primary port(<nif no.>/<port no.>) from secondary port(ChGr:<channel group number>), because preemption execution.**
	自動切り戻しの実行によってセカンダリポートからプライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
27	E4	ULR	20a00027	2400	**ULR:Active port is switched to primary port(ChGr:<channel group number>) from secondary port(<nif no.>/<port no.>), because preemption execution.**
	自動切り戻しの実行によってセカンダリポートからプライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
28	E4	ULR	20a00028	2400	**ULR:Active port is switched to primary port(ChGr:<channel group number>) from secondary port(ChGr:<channel group number>), because preemption execution.**
	自動切り戻しの実行によってセカンダリポートからプライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
29	E4	ULR	20a00029	2400	**ULR:Exceeded the number of MAC Address Table entry update request to uplink-switch from active port(<nif no.>/<port no.>).**
	本装置のアップリンクポートから上位アップリンクスイッチに対して MAC アドレステーブルエントリの更新を要求できる数を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。				
30	E4	ULR	20a00030	2400	**ULR:Exceeded the number of MAC Address Table entry update request to uplink-switch from active port(ChGr:<channel group number>).**
	本装置のアップリンクポートから上位アップリンクスイッチに対して MAC アドレステーブルエントリの更新を要求できる数を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				

2.6 オプション機構

2.6.1 イベント発生部位＝ PS

イベント発生部位 =PS の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 2-14 イベント発生部位 =PS の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E8	PS	00000001	2200	**<ps> is power off.**
	表示された電源ユニットは電源 OFF です。 <ps> の部分は，PS，EPU のうち，電源 OFF の電源ユニットが表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ps>　PS または EPU [対応] 1. 電源スイッチを確認し，ON にしてください。 2. 電源ケーブルの接続と電源供給元を確認し，正しく接続してください。 3. 外部予備電源の実装状態を確認してください。				
2	E8	PS	00000102	2200	**Power unit isn't redundantly mounted.**
	電源が冗長実装ではありません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 電源ユニットの実装状態を確認してください。電源実装が冗長構成ではない場合，コンフィグレーションコマンドで no power redundancy-mode を設定してください。				
3	R8	PS	00000001	2200	**<ps> is normal.**
	表示された電源ユニットは正常状態になりました。 <ps> の部分は，PS，EPU のうち，正常状態の電源ユニットが表示されます。 本メッセージは以下の場合に表示されます。 1. 電源ユニットが，異常状態から正常状態に，または未実装状態から正常状態になった場合，正常状態になった電源ユニットが表示されます。 2. 電源ユニットが冗長構成の場合に EPU が抜去されたとき，正常状態の PS が表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ps>　PS または EPU [対応] なし。				
4	R8	PS	00000102	2200	**Power unit is mounted redundantly or mode changed.**
	電源が冗長実装になりました。または，運用モードが変更されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

2.6.2 イベント発生部位＝ EQUIPMENT

イベント発生部位 =EQUIPMENT の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 2-15 イベント発生部位 =EQUIPMENT の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	EQUIPMENT	00000003	2101	**Failed in accumulated running time access to main.**
	装置への通算稼働時間のアクセスに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 通信および通常運用に影響はありません。ただし，通算稼働時間管理機能が使用できないので，使用したい場合は装置を交換してください。				
2	E3	EQUIPMENT	00020106	2101	**The temperature of hardware reached the warning level (<temperature> degree).**
	ハードウェアの温度が，コンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level で設定した温度に達しました。 [メッセージテキストの表示説明] <temperature>　装置の入気温度（摂氏） [対応] 装置の温度が指定した温度に達しているため，装置周辺の環境（FAN の状態，通風，熱源の有無など）を確認してください。				
3	E3	EQUIPMENT	00020107	2101	**The temperature of hardware came down from the warning level.**
	ハードウェアの温度が，コンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level で設定した温度を 3 ℃下回りました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
4	E3	EQUIPMENT	25040b01	2101	**Layer-2 hardware table entry can't be registered. Change to recommended l2-table mode <mode>.**
	レイヤ 2 ハードウェアテーブルにエントリが登録できませんでした。レイヤ 2 ハードウェアテーブルの検索方式を <mode> に変更します。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　変更後のレイヤ 2 ハードウェアテーブルの検索方式 [対応] なし。				
5	E3	EQUIPMENT	25040b02	2101	**Layer-2 hardware table entry can't be registered. The recommended l2-table mode is <mode>.**
	レイヤ 2 ハードウェアテーブルにエントリが登録できませんでした。最適なレイヤ 2 ハードウェアテーブルの検索方式は <mode> です。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　最適なレイヤ 2 ハードウェアテーブルの検索方式 [対応] 本メッセージで表示された検索方式を使用する場合は，コンフィグレーションコマンド system l2-table mode を変更し，restart vlan コマンドを実行してください。				
6	E3	EQUIPMENT	25040b03	2101	**The recommended l2-table mode can't be selected.**
	最適なレイヤ 2 ハードウェアテーブルの検索方式を選択できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] システム構成を見直してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
7	E3	EQUIPMENT	25040c01	2101	**Corrected memory soft errors.**
	メモリのソフトエラーから回復しました。ソフトエラーによって一部のフレームが廃棄された可能性があります。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。 なお，これは Switch processor 内メモリのデータビットが宇宙線等によって不意に変えられるソフトエラーが一時的に発生したことを示すもので，ハードウェア障害ではありません。				
8	E7	EQUIPMENT	00020102	2101	**Hardware exceeded tolerance level of low temperature(<temperature> degree). Check room temperature.**
	ハードウェアの温度が許容温度範囲の最低値（<temperature> ℃）を下回りました。 [メッセージテキストの表示説明] <temperature>　0 [対応] 1. 装置周辺の環境（室温など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば装置を交換してください。				
9	E7	EQUIPMENT	00020103	2101	**Hardware exceeded tolerance level of high temperature (<temperature> degree). Check that room temperature and the fan is operating normally.**
	ハードウェアの温度が許容温度範囲の最高値（<temperature> ℃）を上回りました。 [メッセージテキストの表示説明] <temperature>　40 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば装置を交換してください。				
10	E8	EQUIPMENT	00000001	2102	**FAN stopped.**
	表示されたファンで障害を検出しました。 付加情報で停止したファンを識別できます。 付加情報＝ 2102:ABCD******** * は不定値です。無視してください。 ABCD はファン番号に対応します。 A=FAN4　0= 正常，1= 停止　　B=FAN3　0= 正常，1= 停止 C=FAN2　0= 正常，1= 停止　　D=FAN1　0= 正常，1= 停止 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 装置を交換してください。				
11	E8	EQUIPMENT	25040201	2101	**Hardware restarted because of its failure.**
	装置にハードウェア障害が発生したので，再起動を行いました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復成功，または障害回復失敗のログ情報を確認してください。成功の場合は継続して運用可能です。 失敗の場合は装置を交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
12	E8	EQUIPMENT	25040400	2101	**Hardware restarted, but not recovered.**
	装置の再起動を行いましたが，ハードウェア障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 装置を交換してください。				
13	E9	EQUIPMENT	00020105	2101	**Hardware is becoming high temperature which give damage to this system. (<temperature> degree).**
	ハードウェアの温度は，装置の運用に致命的な障害を与える温度値（<temperature> ℃以上）に達しました。 [メッセージテキストの表示説明] <temperature>　検出した温度値（50 ℃以上） [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば装置を交換してください。				
14	R7	EQUIPMENT	00020102	2101	**The temperature of hardware returned to normal level (<temperature> degree).**
	ハードウェアの温度が正常温度（<temperature> ℃）に戻りました。 [メッセージテキストの表示説明] <temperature>　3 [対応] なし。				
15	R7	EQUIPMENT	00020103	2101	**The temperature of hardware returned to normal level (<temperature> degree).**
	ハードウェアの温度が正常温度（<temperature> ℃）に戻りました。 [メッセージテキストの表示説明] <temperature>　37 [対応] なし。				
16	R8	EQUIPMENT	00000001	2102	**FAN is normal.**
	表示されたファンは正常状態になりました。 付加情報でその他のファンの状態を識別できます。 付加情報＝ 2102:ABCD******** * は不定値です。無視してください。 ABCD はファン番号に対応します。 A=FAN4　0= 正常，1= 停止　　B=FAN3　0= 正常，1= 停止 C=FAN2　0= 正常，1= 停止　　D=FAN1　0= 正常，1= 停止 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
17	R8	EQUIPMENT	25040200	2101	**Hardware initialized.**
	ハードウェアを初期化しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
18	R8	EQUIPMENT	25040201	2101	**Hardware recovered.**
	装置のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

索引

ろ